



わたりちょう  
亘理町

2024  
保存版

# 防災マップ

亘理町LINE公式アカウント  
スマートフォンで防災情報や  
町の情報入手も楽々！

LINEで  
亘理町の  
“スマホ役場”

このQRコードを  
読み取って始めよう！



受け取る情報が自分で選べます！

選べる情報は以下のとおりです。

※受け取る情報は設定画面から変更可能です。

- |   |  |
|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 子育て | <input checked="" type="checkbox"/> 防災・安全      |
| <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者 | <input checked="" type="checkbox"/> ごみ・環境      |
| <input checked="" type="checkbox"/> 福祉  | <input checked="" type="checkbox"/> イベント・講座・教室 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 健康  | <input checked="" type="checkbox"/> 図書館・歴史文化   |



# i 目次

■目次/家族みんなで防災会議 ……………	1	■阿武隈川ハザードマップ(北部) 土砂災害ハザードマップ(北部) ……	13・14
■はじめに 町民の皆様へ/自助・共助・公助/自主防災組織 ……	2	■阿武隈川ハザードマップ(南部) 土砂災害ハザードマップ(南部) ……	15・16
■我が家の防災対策……………	3・4	■地震対策について……………	17
■非常持出品の例 ■我が家の必要品を記入せよ ……………	5	■津波対策について……………	18
■防災情報の伝達と入手……………	6	■避難施設一覧……………	19
■警戒レベルを用いた避難情報 ……………	7	■亘理町全体図……………	20
■キキフル(危険度分布) ……………	8	■詳細図No.1～8(津波ハザードマップ) ……	21～36
■洪水・浸水害について ……………	9	■171・Web伝言板 ライフライン&緊急&行政 ……………	37
■土砂災害について……………	10	■我が家の「緊急・医療情報」防災メモ ……	38
■マイタイムライン 『逃げっちゃわ!』 ……………	11・12	■ヤフー防災模試 防災情報 ……………	裏表紙

## 家族みんなで防災会議

災害は家族が一緒にいるときに起こるとは限りません。いざというときに慌てず行動できるよう、本書を活用いただき、家族で普段から話し合っておきましょう。

家具の置き方、工夫していますか?



避難場所や避難経路確認していますか?



食料・飲料などの備蓄、十分ですか?



関連お役立ちサイト、把握していますか?

非常用持ち出しバッグの準備、できていますか?



もしもの時の情報収集、していますか?

安否確認方法決まっていますか?



出典：首相官邸ホームページ(<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/bousai/index.html>)を加工して作成

詳細図：「この地図は、亘理町長の承認を得て、同町発行の1/2,500国土基本図を使用し、調製したものである。(承認番号)巨施第1986号」

「この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県発行の1/5,000森林基本図を使用し、調製したものである。(承認番号)林振第5109号」

発行：亘理町（問い合わせ：総務課）0223-34-1111

制作・著作：株式会社ゼンリン仙台営業所

作成：令和6年3月

## 町民の皆様へ

自然豊かな巨理町で暮らす皆様が、この町で安心して過ごすためには、災害への備えを欠かすことはできません。この防災マップは、万が一の時に備えて、あらかじめ必要な情報を提供・共有するとともに、災害時の効果的な行動を早期に決心し、確かに実践できることを願って、町民の皆様にお配りするものです。未来をより安全に歩むためには、町民の皆様が相互に協力して、備えを整えていくことが不可欠です。そして、この先、もし災害が訪れたとしても、互いに支え合い、助け合うことで、この町はより強く、結束力あるものとなります。この防災マップを通じて、皆さんと共に、安全で安心な暮らしと、豊かな未来を築いていくために、引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

巨理町長 山田周伸

## 地域の防災力を高める 自助・共助・公助

地震や洪水、台風等の自然災害による被害は、わたしたちの日ごろの努力によって減らすことが可能です。行政による「公助」はいうまでもありませんが、自分の身は自分で守る「自助」、地域や身近にいる人どうしが助け合う「共助」こそが、災害による被害を少なくするための大きな力となります。ただし、身のまわりの人を助けるには、まず自分自身が無事でなければなりません。「自助」があつての「共助」です。災害が起きてからでは間に合いません。いざという時に備え、適切な行動ができるよう日常的に防災を意識しましょう。



出典：内閣府ホームページ(<https://www.bousai.go.jp/index.html>)を加工して作成

## 自主防災組織

### 自主防災組織の活動内容

自主防災組織とは、行政区などの単位で結成されるもので、地域のみなさんが自主的に連携して防災活動を行う団体のことをいいます。「自分たちの地域は自分たちで守る」という考え方が重要となります。

### 平常時

災害に備えるために、日頃から地域のみなさんに、防災知識・防災活動の必要性を理解してもらう活動を行います。

- 地域内の安全点検  
地域内の危険箇所や問題点を確認し改善します。
- 防災知識の普及と啓発  
地域住民に防災知識を広め、関心を持ってもらいます。
- 防災訓練  
災害時に備え、町の総合防災訓練への参加や地域での訓練を行います。



### 災害時

人命を守り被害の拡大を防ぐために、地域のみなさんが協力して、火災の初期消火や負傷者等の救出・救護などを行います。

- 初期消火  
近隣の人と初期消火活動を行います。
- 救出・救助  
負傷者等の救出・救助や、応急手当を行います。
- 避難誘導  
避難経路の安全を確認し、地域の住民を避難場所へ誘導します。
- 情報の収集と伝達  
防災関係機関と連絡を取り、情報を住民に伝達します。
- 避難所の管理と運営  
開設された避難所の運営を行います。



### 要配慮者への協力

高齢者・乳幼児・傷病者・障がい者・外国人の方々は、災害時の避難行動や言葉の理解などで大きなハンデを負うことになります。日頃からコミュニケーションをとりあって、災害時には相手に適した誘導方法で早めの避難ができるように協力しましょう。

- 高齢者・乳幼児・外国人の方には  
高齢者や乳幼児は、手をつなぐ、背負うなどよりしっかり援護します。傷病者には複数の方で対応しましょう。外国人の方で言葉が通じない場合には、身振りを交えて誘導します。



- 車椅子を利用する人には  
車椅子を利用する人の場合は、必ず3人で協力し、階段を上がる時には前向きに、下がる時は後ろ向きにして、恐怖感を与えないように配慮しましょう。



- 目の不自由な人には  
まず、「お手伝いしましょうか」などの声をかけましょう。話すときは、はっきりゆっくり、大きな声で話し、誘導するときは、杖をもっていないほうのひじのあたりを軽く触れるか、腕をかし、半歩前くらいをゆっくり歩きましょう。



- 耳の不自由な人には  
話すときは、近くまで寄って相手にまっすぐ顔を向け、口を大きくはっきり動かしましょう。口頭でわからないようであれば、紙とペンで筆談しましょう。紙やペンがなければ、相手の手のひらに字を書いて筆談しましょう。



# 我が家の防災対策

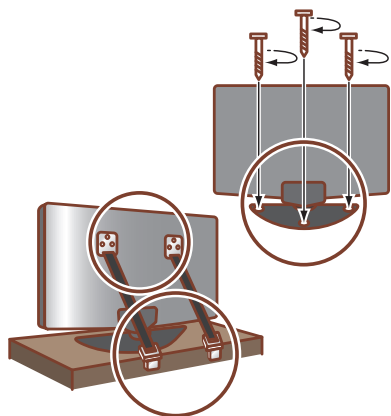
## 家の中の安全対策

地震に備えて日頃から家具の固定や配置の見直しで「安全空間」を作っておきましょう。

### ！家具や家電は固定しましょう

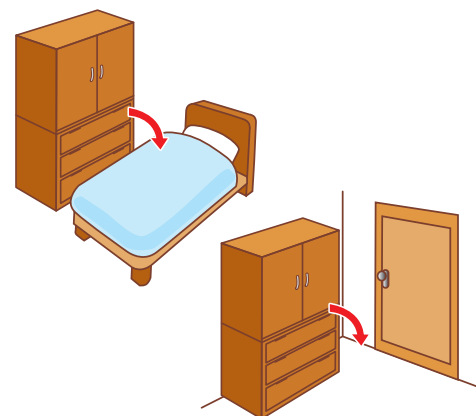
家具の固定方法はいろいろありますが、正しいやり方で行わなければ効果は期待できません。出来るだけ作りつけにすることを検討しましょう。

また、テレビや電子レンジ、パソコンなどの電化製品は、激しい揺れで飛んでくる可能性があります。耐震固定ベルトや耐震マットを使いましょう。



### ！家具は倒れる向きを考えて配置しましょう

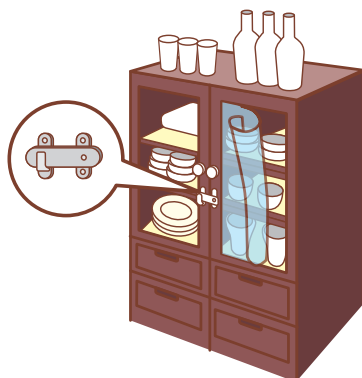
「大地震では、家具は必ず倒れるもの」と考えて、万が一倒れてきても安全なように、家具の向きと配置を確認しましょう。また、倒れた家具が避難経路をふさぐことがないように、併せて確認しましょう。



### ！家具の上や中身の物にも注意しましょう

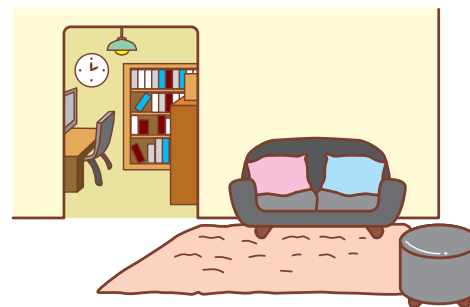
家具本体だけでなく、家具の引き出しや扉、ガラス部分も確認しましょう。収納物が飛び出して身体に当たったり、避難経路に散乱して、ケガをする危険があります。扉が開かないようにとめ金をつけたり、ガラス飛散防止フィルムを貼るなどの対策をとりましょう。

また、家具の上や高い位置に重い物を置かないようにしましょう。



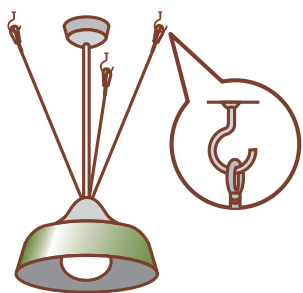
### ！家具部屋をつくりましょう

お子さんやお年寄りのいる部屋の安全を確認しましょう。寝室や子ども部屋など、家族が長時間を過ごす部屋には、できるだけ家具を置かないようにするために、背の高い家具などを一部屋にまとめておくのも有効です。



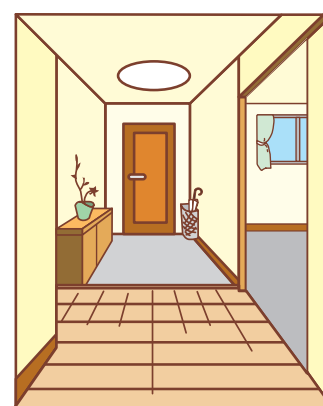
### ！壁・床・天井にも気を配りましょう

壁に飾られた額やオブジェ、天井から吊り下げられた照明は、地震の際にどうなるでしょうか。ガラスの破片などが床一面に広がったりしませんか。照明などは出来るだけ作りつけにし、スリッパやズック靴などを使えるように置いておきましょう。



### ！生き残るため、死なないための努力を

『緊急地震速報』を見聞きしても、家の中に安全な場所がなければどうしようもありません。また、逃げようにも逃げられない状態を避けるためにも、安全な避難経路が確保できるよう、日ごろからお部屋の状況に応じた手立てを行いましょう。



## チェックリスト

- 家具は倒れないよう固定されている
- 寝る場所の近くに、倒れそうな家具はない
- 家電製品が落ちたり飛ばないように対策してある
- 万が一、家具が倒れても部屋の出口はふさがれない
- 家具の上に危険なものを置いていない
- 避難経路に壊れ物を飾っていない
- ガラス付きの家具には、ガラス飛散防止フィルムをはっている

## 家の周囲の安全対策

以下のポイントをチェックし、適切に補修を行ってください。

不安定な屋根のアンテナや、瓦なども専門家に頼んで直してもらいましょう。

瓦のひび割れ、ずれ、はがれがないか点検します。

板壁に腐りや浮きはありますか。

どこにでもあるブロック塀。土中にしっかりとした基礎のないもの、鉄筋が入っていないもの、控え壁がないものは危険です。補強しましょう。ひび割れや鉄筋のさびも修理しておきます。

ひび割れ、窓枠のがたつきはないか、チェックします。強風による飛来物が心配なときは、外側から板でふさぐなどの処置を。

植木鉢などを整理します。落ちる危険がある場所には、何も置かないようにします。

トタンのめくれ、はがれのないことを確認します。

雨樋に落ち葉や土砂が詰まっていたり、継ぎ目のはずれや塗装のはがれ、腐りはありませんか。

雨戸はがたつきやゆるみを確認します。

モルタルの壁に傷はありませんか。

家の周りやアパートなどの階段の下に燃えやすいものを置かないようにしましょう。

ガスは、ボンベを鎖で動かないよう固定しておきます。

家を空けるときは、隣近所に声をかけておきましょう。空き家、車庫、物置などにもきちんと鍵をつけ、戸締りをしっかりするよう心がけておきます。



出典：消防庁ホームページ防災・危機管理eカレッジを加工して作成  
(<https://www.fdma.go.jp/relocation/e-college/index2.html>)

## 準備しておこう

避難場所や避難経路、確認していますか？

### ◆避難場所や避難経路、確認していますか？

いざ災害が起きた時にあわてずに避難するためにも、お住まいの自治体のホームページや国土交通省ハザードマップポータルサイトなどから防災マップやハザードマップを入手し、避難場所、避難経路を事前に確認しておきましょう！

豪雨、津波、火山噴火など、災害の種類によって安全な避難場所が異なります。それぞれの災害をイメージして、どのように行動すれば安全に避難できるか家族で考えてみましょう。



### ◆ご家族同士の安否確認方法、約束ごとは決まっていますか？

別々の場所にいるときに災害が発生した場合でもお互いの安否を確認できるよう、日頃から安否確認の方法や約束ごと、集合場所などを、事前に話し合っておきましょう。災害時には、携帯電話の回線が繋がりにくくなり、連絡がとれない場合もあります。

#### 災害用伝言ダイヤル 詳しくは P37 参照

局番なしの「171」に電話をかけると伝言を録音でき、自分の電話番号を知っている家族などが、伝言を再生できます。  
※一般加入電話や公衆電話、一部の IP 電話からご利用できます。  
※携帯電話からもご利用できます。

#### 災害用伝言板 詳しくは P37 参照

携帯電話などからインターネットサービスを使用して文字情報を登録し、自分の電話番号を知っている家族などが、情報を閲覧できます。

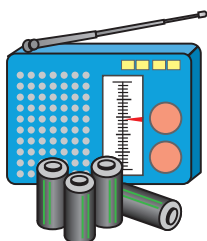
出典：首相官邸ホームページを加工して作成

# 非常持出品の例

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。

## 非常時持出品(例) 事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。

### 携帯ラジオ



- ラジオ
- 電池(多めに用意)

### 救急医療品



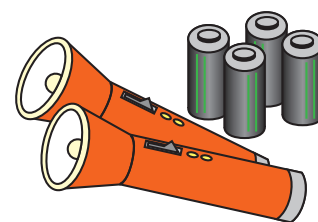
- 常備薬
- きず薬
- かぜぐすり
- 鎮痛剤
- ばんそうこう
- 包帯
- 胃腸薬

### 貴重品



- 現金
- 印鑑
- 健康保険証
- 預貯金通帳
- 免許証
- 権利証書

### 懐中電灯



- 懐中電灯(出来れば一人にひとつ)
- 電池(多めに用意)

### 非常食品等

- 非常用食品
- ミネラルウォーター
- 離乳食
- 粉ミルク



### その他

- 衣類(下着・上着など)
- 生理用品
- 缶切り
- 紙皿
- 水筒
- ウェットティッシュ
- ヘルメット
- 防災マップ(本書)
- タオル
- 紙おむつ
- 栓抜き
- 紙コップ
- カップ
- ライター
- ラップフィルム(止血や食器にかぶせて使う)

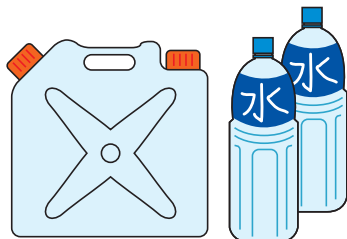
### 感染症対策

- マスク
- 消毒液
- 体温計



## 非常時用備蓄品(例) 災害復旧までの数日間(1週間~2週間)を生活できるようにチェック☑しましょう。

### 飲料水



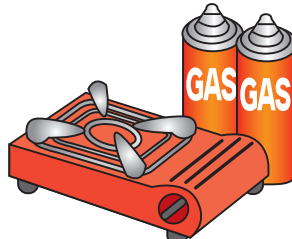
- 飲料水としてペットボトルや缶入りのミネラルウォーター(1人1日3リットルを目安に)又は貯水した防災タンクなど

### 非常食品



- お米(アルファ化米など)
- 缶詰・レトルト食品
- 梅干し・調味料など
- ドライフーズ・チョコレート・アメ(菓子類など)

### 燃料



- 卓上コンロ
- ガスボンベ
- 固形燃料

### その他



- 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水)
- 寝具(毛布・寝袋)
- 洗面用具・ドライシャンプーなど
- 調理器具(なべ・やかんなど)
- バケツ・各種アウトドア用品
- トイレットペーパーなど

# 我が家の必要品を記入せよ

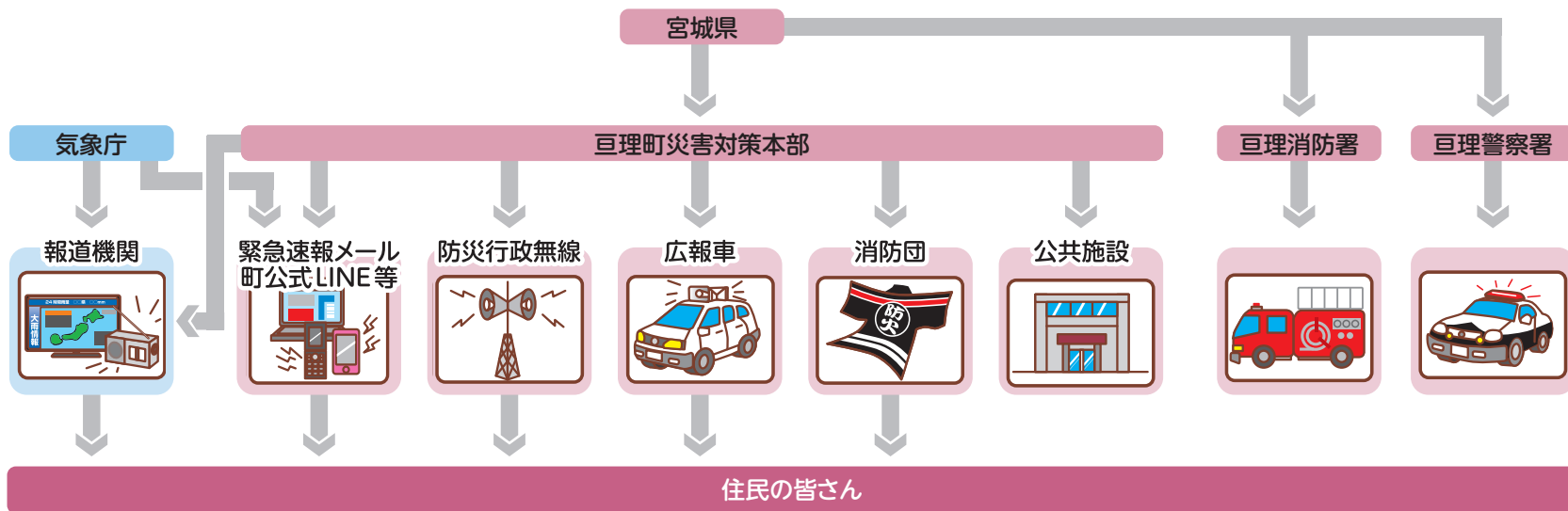
①	⑦
②	⑧
③	⑨
④	⑩
⑤	⑪
⑥	⑫

# i 防災情報の伝達と入手

## 防災情報の伝達

気象情報

避難情報等



## 防災情報の入手

### 防災情報

- 避難指示などの発令情報
- 避難所開設情報
- 各種災害情報

#### ■巨理町LINE公式アカウント

LINEによる情報配信やオンライン申請・予約などができるサービスです。ご自身で、欲しい情報を選択して、受信することも可能です。



#### ■巨理町ホームページ

<https://www.town.watari.miyagi.jp/>

巨理町

#### ■防災行政無線テレホンサービス

防災行政無線で放送された内容を確認したい時、電話で最新の放送内容を聞くことができます。放送内容が分からなかったり、もう一度聞きたい場合にご利用ください。

防災行政無線テレホンサービス：TEL 0223-34-1116

### 気象 の情報

- 気象情報・注意報
- 台風・洪水・土砂災害などの防災気象情報



#### ■仙台管区気象台ホームページ

<https://www.jma-net.go.jp/sendai/>

仙台管区気象台

### 土砂災害 の情報

- 宮城県砂防総合情報システム



#### ■宮城県砂防総合情報システム

<https://www.doshasaigai.pref.miyagi.jp/midski/>

宮城県砂防総合情報システム

### 水位 の情報

- 雨量情報
- 水位情報
- ダム情報
- 洪水予報
- 水防警報
- ライブカメラ



#### ■国土交通省「川の防災情報」

<https://www.river.go.jp/index>

川の防災情報



#### ■宮城県河川流域情報システム

<https://www.dobokusougou.pref.miyagi.jp/miyagi/servlet/Gamen72Servlet>

宮城県河川流域情報システム

### 宮城県 の防災情報

- 気象
- 台風
- 地震
- 津波
- 火山
- 避難情報
- 避難所情報



#### ■宮城県防災情報ポータル

<https://miyagi-bousai.my.salesforce-sites.com/>

宮城県防災情報ポータル

### テレビ ラジオ

テレビのニュースや天気予報だけでなく、データ放送では、気象・情報や防災情報について常時放送されています。



# ！警戒レベルを用いた避難情報

**警戒レベルについて** 警戒レベルは、水害や土砂災害に備えて住民がとるべき行動をお知らせするために5段階にレベル分けしたもので、市区町村が避難情報と合わせて出す情報です。

避難情報等 (警戒レベル)				河川水位や雨の情報 (警戒レベル相当情報)	
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報(警戒レベル相当情報)	
				浸水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)
5	災害発生 又は切迫	<b>命の危険 直ちに安全確保!</b> ・警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。 ・警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません! ・ただし、警戒レベル5は、市区町村が災害の発生・切迫を把握できた場合に、可能な範囲で発令される情報であり、必ず発令される情報ではありません。	緊急安全確保	5相当 氾濫発生情報	大雨特別警報 (土砂災害)
~~~~~ < 警戒レベル4までに必ず避難! > ~~~~~					
4	災害のおそれ高い	<b>危険な場所から全員避難</b> ・警戒レベル4避難指示は、立退き避難に必要な時間や日没時間等を考慮して発令される情報で、このタイミングで危険な場所から避難する必要があります。	避難指示	4相当 氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
3	災害のおそれあり	<b>危険な場所から高齢者等は避難</b> ・「高齢者等」は障害のある人や避難を支援する者も含んでいます。 ・さらに、高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難するタイミングです。	高齢者等避難	3相当 氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報	2相当 氾濫注意情報	—
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	1相当 —	—

※市区町村長は、河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等(警戒レベル)の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

避難指示等が発令されたら速やかに避難行動をとる必要がありますが、突発的な災害では、発令が間に合わないこともあります。避難指示等が発令されていなくても、警戒レベルに相当する気象情報を認識し、危険を感じたら早めに避難行動をとってください。大切なことは「自分で判断する」ということです。

**警戒レベル5はすでに災害が発生・切迫している状況です。また、必ず発令されるものではありません。**

**警戒レベル3 高齢者等避難や警戒レベル4 避難指示で、地域の皆さんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう。**



(ページ内の図表は内閣府・気象庁ホームページより抜粋、編集)

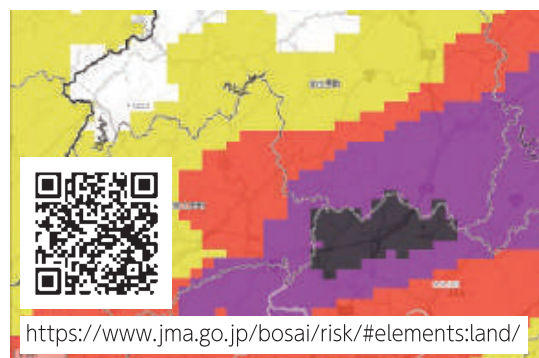


# i キキクル(危険度分布)

## キキクル(危険度分布)

どこで土砂災害や浸水害、洪水災害の危険度が高まっているかを知ることができる、命を守るための情報です。

土砂キキクル 大雨警報(土砂災害)の危険度分布

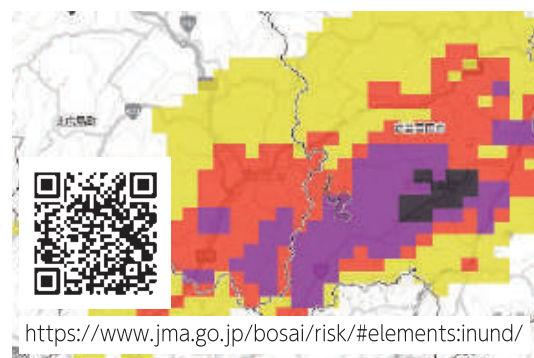


<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land/>

紫：崖・溪流の近くは危険



浸水キキクル 大雨警報(浸水害)の危険度分布

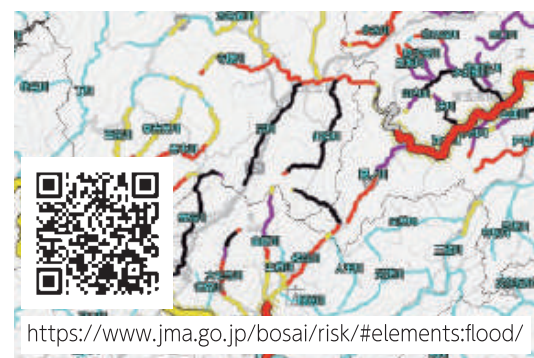


<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:inund/>

紫：低地は危険



洪水キキクル 洪水警報の危険度分布



<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:flood/>

紫：河川沿いは危険



※使用している携帯電話・アプリケーションによっては二次元コードの読み取りができない場合があります。

## 土砂災害警戒情報

大雨警報(土砂災害)の発表後、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、市町村長の避難指示の発令判断や住民の自主避難の判断を支援するよう、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報で、都道府県と気象庁が共同で発表しています。**危険な場所からの避難が必要な警戒レベル4に相当します。**

土砂災害警戒情報が発表された市町村内で**危険度が高まっている詳細な領域は土砂キキクル(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)で確認できます。**土砂災害によって命が脅かされる危険性が認められる土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、遅くとも該当領域に「危険」(紫色)が出現した時点で速やかに避難を開始することが大変重要です。周囲の状況や雨の降り方にも留意し、危険を感じたら躊躇することなく自主避難を行いましょう。

## 記録的短時間大雨情報

数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を、観測(地上の雨量計による観測)したり、解析(気象レーダーと地上の雨量計を組み合わせた分析:解析雨量)したりしたときに発表します。

この情報は、現在の降雨がその地域にとって土砂災害や浸水害、中小河川の洪水災害の発生につながるような、稀にしか観測しない雨量であることをお知らせするために、雨量基準を満たし、かつ、大雨警報発表中に、**キキクル(危険度分布)の「危険」(紫)が出現している場合に気象庁から発表されます。**この情報が発表されたときは、お住まいの地域で、土砂災害や浸水害、中小河川の洪水災害の発生につながるような猛烈な雨が降っていることを意味しています。実際にどこで災害発生の危険度が高まっているかを**キキクル(危険度分布)で確認してください。**

## 顕著な大雨に関する気象情報

大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている中で、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で降り続けている状況を「線状降水帯」というキーワードを使って解説する情報です。

この情報は警戒レベル相当情報を補足する情報です。**警戒レベル4相当以上の状況で気象庁から発表されます。**顕著な大雨に関する情報が発表されていなくとも、広範囲で激しい雨が長時間継続するような場合には、甚大な災害が発生する場合があります。**顕著な大雨に関する情報を待つことなく、災害発生の危険度の高まりを示すキキクル(危険度分布)を活用いただくことが極めて重要です。**

キキクルに  
アクセスはこちら



キキクル(危険度分布)

(ページ内の図表は内閣府・気象庁ホームページより抜粋、編集)



# 洪水・浸水害について

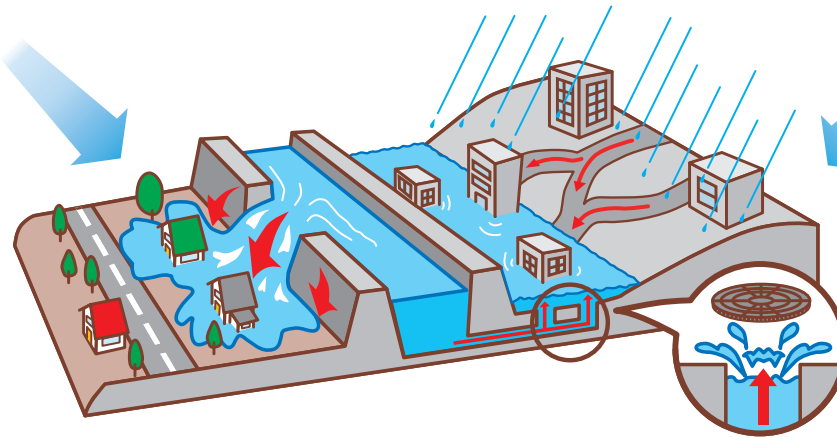
## 氾濫の種類

### 外水氾濫

河川の水位が上昇し、堤防を越えたり破堤するなどして堤防から水があふれ出す。

### 内水氾濫

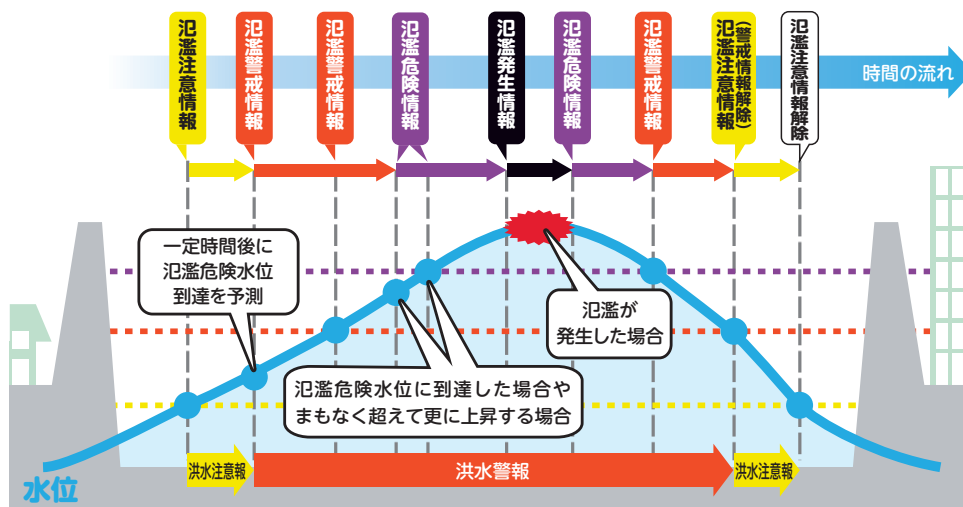
下水道・支川等の雨水排水能力を上回り浸水。あるいは、河川水位の上昇により、下水道・支川等から河川へ放流できず浸水。



出典：国土交通省ウェブサイト (<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/olympic/>) を加工して作成

## 河川の危険水位と洪水予報

下記の水位に応じ、河川管理者と気象台から洪水予報が発表されます。町はこの情報を目安にして、避難に関する情報を発令します。



河川名	阿武隈川		
	荒浜	小山	岩沼
観測所			
氾濫危険水位(レベル4水位)	—	—	8.20
避難判断水位(レベル3水位)	—	—	7.90
氾濫注意水位(レベル2水位)	1.80	—	5.00
水防団待機水位	1.30	—	4.00

(単位：m)

出典：気象庁ホームページを加工して作成

## 避難行動のポイント、危険な場所

### 1. 情報の確認

- 雨や台風などの状況を、テレビ・ラジオ・インターネットなどで確認し、最新の気象情報や避難指示等に関する情報を入手しましょう。  
川の防災情報 <http://www.river.go.jp/>

### 2. 防災責任者の指示に従う

- 避難のときは警察・消防などの指示に従って行動しましょう。独断での行動は大変危険です。

### 3. 動きやすい服装、集団での避難

- 避難するときは、動きやすい格好で、2人以上での行動を心がけましょう。

### 4. 避難時の歩き方

- 避難中はできるだけ浸水していない場所を歩きましょう。避難途中で危険を感じたら、建物の2階以上や近所のビルに避難しましょう。
- 浸水している場合には下水道のマンホールや側溝等への転落のおそれがあり危険ですので注意しましょう。

### 5. 隣近所への呼びかけ

- お年寄りや子供、病気の方は早めの避難が必要です。近所のお年寄りや子供、病気の人などの避難に協力しましょう。情報伝達や避難場所をとりまとめておくとう便利です。

### 6. 車での避難は危険

- 自動車が水に浸かると動かなくなったり、水圧で扉が開かなくなったりして危険です。自動車での避難は特別の場合を除きやめましょう。

### 7. 橋や川の近くは危険

- 川が増水している場合には、川の流が速く、橋が壊れたり流されたりして非常に危険ですので、近寄らないようにしましょう。

### 8. 川や用水路を見に行かない

- 大雨の時に、川や用水路の様子を見に行ったことで流されて被害に遭う場合があります。大雨時に川や用水路を見に行くことは絶対にやめましょう。

出典：国土交通省ウェブサイトを加工して作成



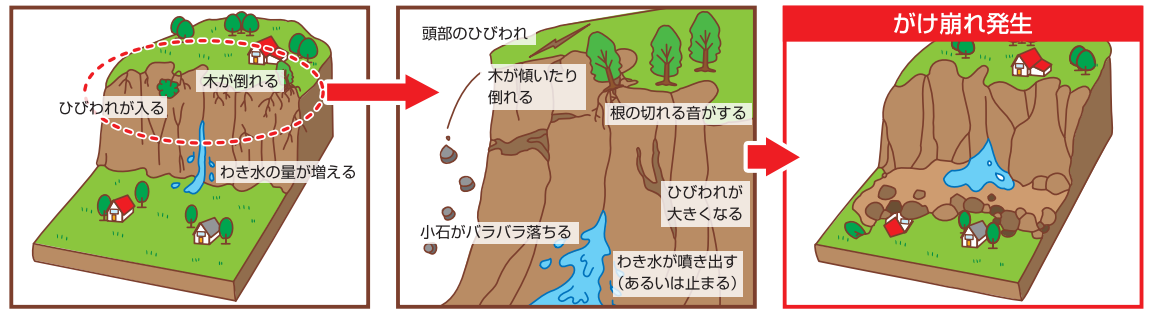
# 土砂災害について

## 土砂災害の種類

土砂災害は、大きく分けてがけ崩れ(急傾斜地の崩壊)、土石流、地滑りの3種類に分類される。

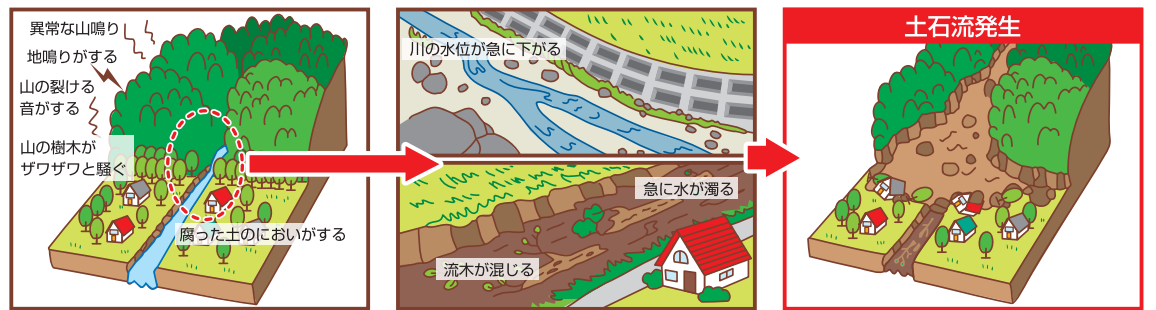
### がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)

雨などの影響によって、土の抵抗力が弱まり、急激に斜面が崩れ落ちる現象。ひとたび人家を襲うと逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高い。



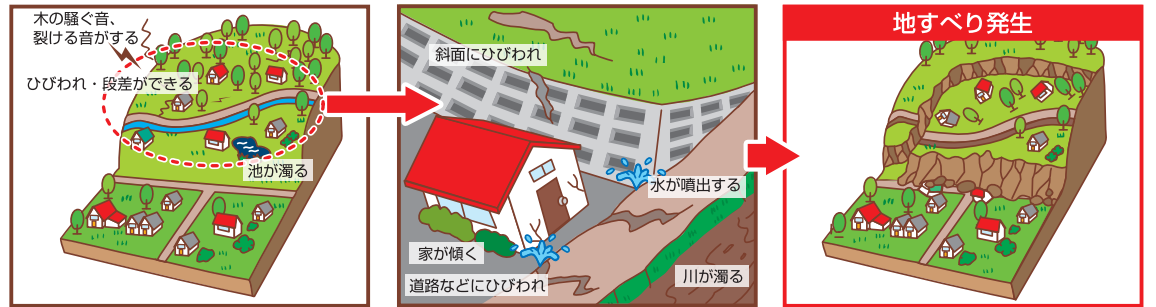
### 土石流

山腹や溪床を構成する土砂石礫の一部が雨などによって水と一体となり、一気に下流へ押し流される現象。流速 20 ~ 40km/h で一瞬のうちに人家などを壊滅させてしまう。



### 地すべり

斜面の土塊が地下水などの影響により、すべり面に沿ってゆっくりと斜面下方へ移動する現象。一般的に広範囲に及び移動土塊量が大きいいため甚大な被害を及ぼす可能性が高い。



※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

出典：国土交通省ウェブサイトを加工して作成

## 土砂災害の警戒区域

土砂災害防止法に基づき、都道府県は調査を実施し、土砂災害のおそれのある区域を以下の通り指定しています。

**土砂災害 特別警戒区域(レッドゾーン)**

建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがある区域

**土砂災害 警戒区域(イエローゾーン)**

住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがある区域

出典：国土交通省ウェブサイトを加工して作成

## 避難行動のポイント

### 豪雨になる前に！

- お住まいの地域に土砂災害警戒情報(警戒レベル4相当情報)が発表されたら、自治体からの警戒レベル4避難指示の発令に留意し、土砂キキクル(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)などを参考にし、地域内の方々に声をかけあい近くの避難場所など、安全な場所に避難しましょう。特に、お年寄りや障害のある人など避難に時間がかかる人や、夜中に大雨が想定される場合は、警戒レベル3高齢者等避難が発令されたタイミング等で早めに避難することがより安全です。
- 土砂災害の多くは木造の1階で被災しています。浸水などで避難場所への避難が困難なときは、近くの頑丈な建物の2階以上や、家の中でより安全な場所(がけから離れた部屋や2階など)に移動しましょう。
- 普段から避難訓練に参加し避難に慣れていれば避難行動を起こしやすくなります。市町村などがおこなう土砂災害の避難訓練に参加しましょう。

出典：首相官邸ホームページを加工して作成

# 一人ひとりの 避難行動計画

# 逃 マイタイムライン げ っ ちゃ わ !!



”宮城県に台風が接近”例えばこんな時どうしますか？

災害からの逃げ方は人それぞれ違います。

「マイタイムライン」は自らの生活環境に応じて

台風の接近などに対する行動を定める

”自分オーダーメイド”の避難計画です。

率先した”先手の”避難行動が

周りの人たちを守る行動につながります。







だから早めに。

## 「ほいや、逃げっちゃわ!!」

### ■マイタイムラインとは？

マイタイムラインは、台風や大雨の水害などにより、これから起こるかもしれない「雨や風が強まる」・「河川(阿武隈川)の水位が上昇する」などの状況に対し、あらかじめ、自分自身や家族の防災行動を、時系列で整理し、逃げ遅れによる被災を防ぐための行動計画書です。住んでいるところや家族構成などは、1人ひとり異なるため、いざという時に迅速で正しい行動を取れるよう、平時の段階から自分に合った計画を考えることが重要です。

### ■どうやって作ればいいのか？

ステップ1	<b>住んでいる地域のリスクを知る</b> 町の洪水・土砂災害防災マップなどを確認し、住んでいる地域の危険箇所を調べましょう。	▼防災マップ(町HP) 
ステップ2	<b>家族で話し合い、避難場所や避難ルートを決める</b> ハザードマップなどを用いて、土砂災害や洪水災害による危険が低い避難場所や避難経路を確認しておきましょう。	▼指定緊急避難場所 
ステップ3	<b>情報収集手段を確認する</b> 気象情報や川の水位状況などの情報収集手段を確認しておきましょう。	▼気象情報  ▼川の防災情報  ▼「スマホ役場」LINE 
ステップ4	<b>マイタイムライン「逃げっちゃわ!」を作る</b> 巨理町公式ホームページより様式をダウンロードして、具体的な避難行動を記入し、私(家族)のタイムラインを作ってみましょう。	

作って  
みよう

一人ひとりの避難行動計画

逃げ遅れゼロへ！



# マイタイムライン「逃げっちゃわ！」

## マイタイムラインを作ってみよう

※警戒レベルや気象情報は、下記の順番で発表されるとは限らず、あくまで目安です。

1

警戒レベルや気象情報などを参考に、災害時の避難行動について、普段から家族で話し合っておきましょう。

警戒レベル ●●●●● 避難情報など	警戒レベル1 ●●●●●●●● —	警戒レベル2 ●●●●●●●● —	警戒レベル3 ●●●●●●●● 高齢者等避難	警戒レベル4 ●●●●●●●● 避難指示	警戒レベル5 ●●●●●●●● 緊急安全確保
防災気象情報	早期注意情報	大雨注意報 洪水注意報	大雨警報 洪水警報	高潮警報 高潮特別警報	大雨特別警報
阿武隈川の 水位の情報	—	氾濫注意情報	氾濫警戒情報	氾濫危険情報	氾濫発生情報
土砂災害警戒 (危険度分布)	—	土砂キキクル(注意)	大雨警報(土砂災害) 土砂キキクル(警戒)	土砂災害警戒警報 土砂キキクル(非常に危険)	土砂災害発生

2

どのタイミングでどのような行動を取るのか、具体的に下の表に書き込みましょう。(何を準備・誰に連絡・どうやって情報取得・どこに避難 など)

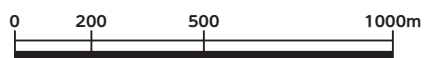
私の・家族の 防災対処行動	記入すべき行動の例				
	警戒レベル1	警戒レベル2	警戒レベル3	警戒レベル4	警戒レベル5
※行動を開始する 時点に“●”を記 入して確実に行 動しましょう					私の・家族の避難先

## ■作ったあとはどうすれば良いの？

作成したマイタイムラインは、常に最新の状態にしておくとともに、災害が近づく前に実際に行動できるかを、チェック(訓練)しておくことが大切です。また、地域のみなさんで、それぞれの計画を見比べ、必要に応じて支援が必要な方への支援行動を追加するなど、自助・共助の意識高揚と、地域の防災力向上にも活用していきましょう。

阿武隈川ハザードマップ(北部)  
土砂災害ハザードマップ(北部)

1 : 20,000

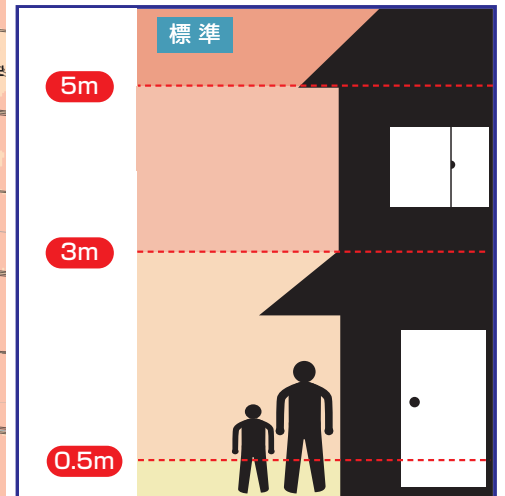
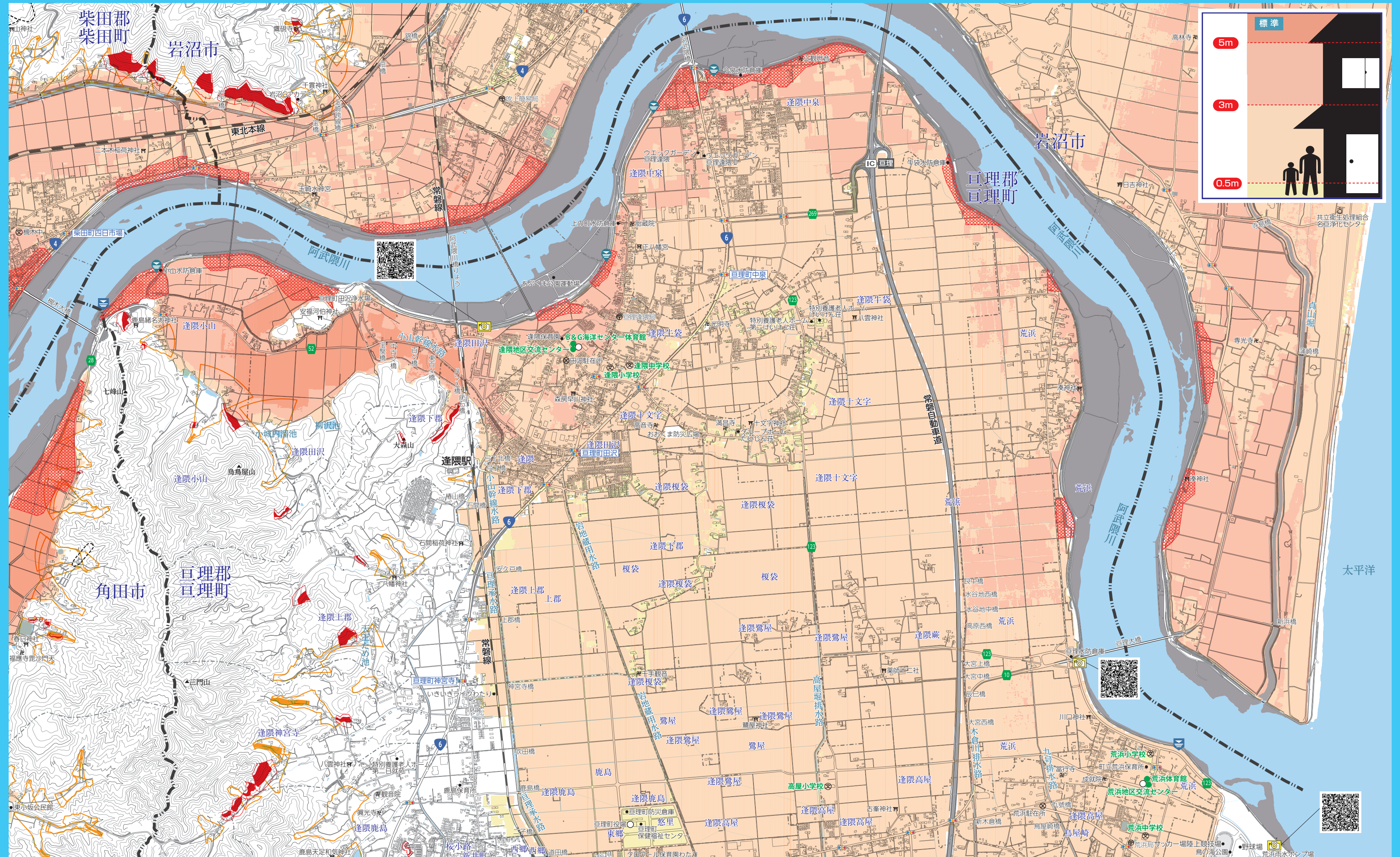


**凡例**

① 避難所	学校	神社	常磐線
<small>※①数字施設につきましてはP19~P20をご参照下さい。</small>	警察署・駐在所	寺院	河川カメラ
役場	消防署	国道	水位計
	郵便局	県道・主要地方道	水位観測所

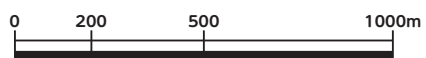
**凡例**

土石流 特別警戒区域	浸水した場合に想定される水深(ランク別)	家屋倒壊(氾濫流) (早期避難が必要な区域)
土石流 警戒区域	5.0m~10.0m未満の区域	パツファゾーン
急傾斜 特別警戒区域	3.0m~5.0m未満の区域	浸水深の指定はありませんが 浸水の恐れがあるエリア
急傾斜 警戒区域	0.5m~3.0m未満の区域	
地すべり 警戒区域	0.5m未満の区域	



阿武隈川ハザードマップ(南部)  
土砂災害ハザードマップ(南部)

1 : 20,000

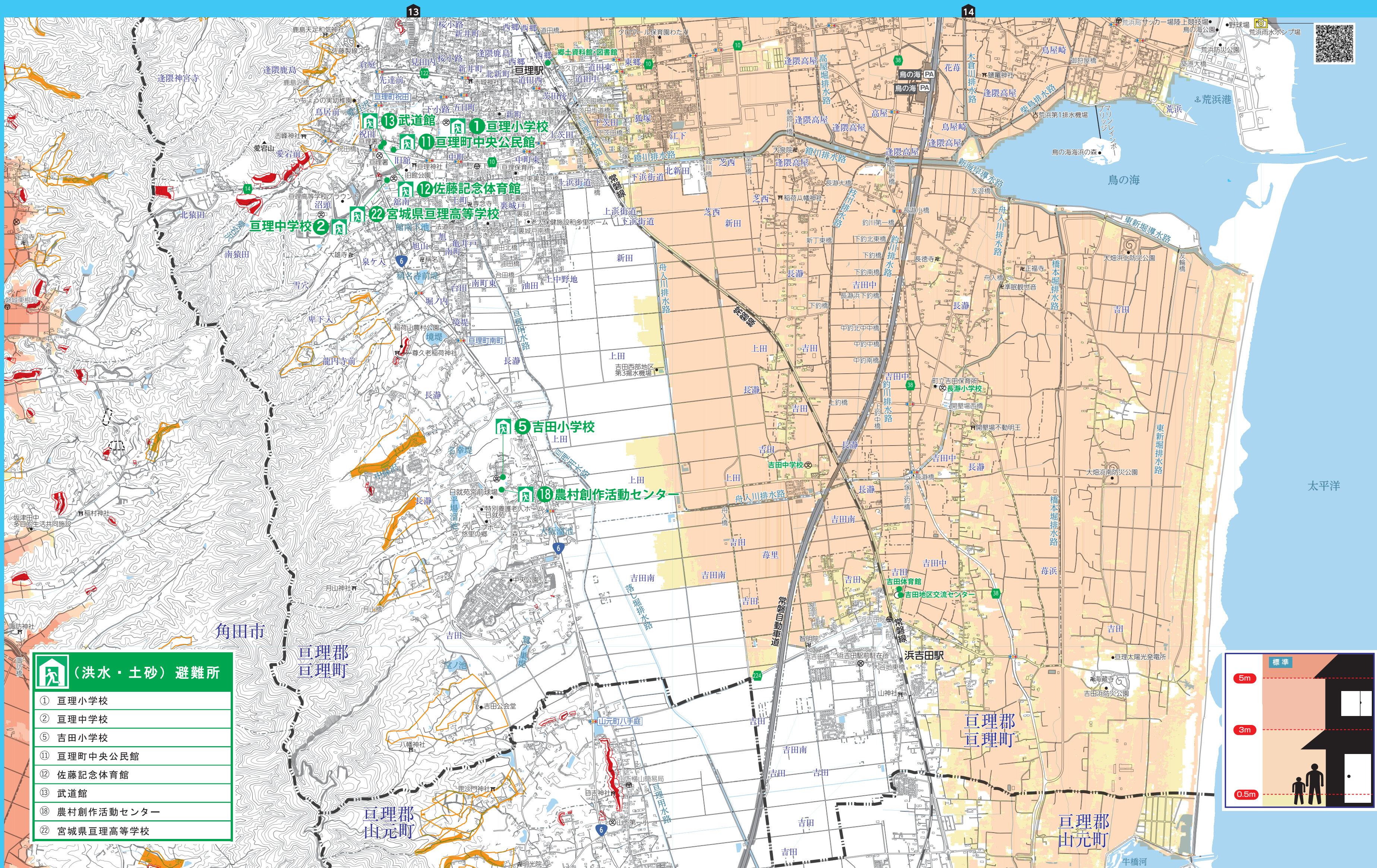


凡例

① 避難所	学校	神社	常磐線
<small>※①数字施設につきましてはP19~P20をご参照下さい。</small>	警察署・駐在所	寺院	河川カメラ
役場	消防署	6 国道	水位計
	郵便局	10 県道・主要地方道	水位観測所

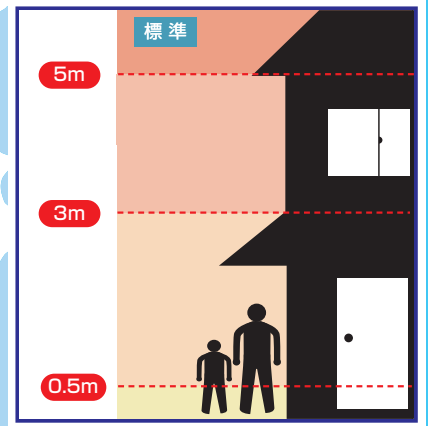
凡例

土石流 特別警戒区域	浸水した場合に想定される水深(ランク別)	家屋倒壊(氾濫流) (早期避難が必要な区域)
土石流 警戒区域	5.0m~10.0m未満の区域	パツファゾーン
急傾斜 特別警戒区域	3.0m~5.0m未満の区域	浸水深の指定はありませんが 浸水の恐れがあるエリア
急傾斜 警戒区域	0.5m~3.0m未満の区域	
地すべり 警戒区域	0.5m未満の区域	



(洪水・土砂) 避難所

① 巨理小学校
② 巨理中学校
⑤ 吉田小学校
⑪ 巨理町中央公民館
⑫ 佐藤記念体育館
⑬ 武道館
⑱ 農村創作活動センター
㉒ 宮城県巨理高等学校





# 地震対策について

## 地震の時はどのように行動したらいいか？

地震の揺れを感じた場合、あるいは緊急地震速報を見聞きした場合は、あわてずにまずは身の安全を確保してください。そして、落ち着いてテレビやラジオ、携帯電話やスマートフォンのワンセグやネット通信機能など、様々な手段を使って正確な情報の把握に努めましょう。

### 家庭で屋内にいるとき

- 家具の移動や落下物から身を守るため、頭を保護しながら大きな家具から離れ、丈夫な机の下などに隠れる。
- あわてて外に飛び出さない。
- 料理や暖房などで火を使っている場合、その場で火を消せるときは火の始末、火元から離れているときは無理に火を消しに行かない。



### 人が大勢いる施設(大規模店舗などの集客施設)にいるとき

- あわてずに施設の係員や従業員などの指示に従う。
- 従業員などから指示がない場合は、その場で頭を保護し、揺れに備えて安全な姿勢をとる。
- 吊り下がっている照明などの下から退避する。
- あわてて出口や階段に殺到しない。



### エレベーターに乗っているとき

- 最寄りの階で停止させて、すぐに降りる。



### 屋外にいるとき

- ブロック塀の倒壊や自動販売機の転倒などに注意し、これらのそばから離れる。
- ビルの壁、看板や割れた窓ガラスなどの落下に注意して、建物から離れる。



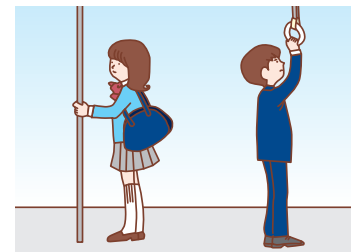
### 山やがけ付近にいるとき

- 落石やがけ崩れに注意し、できるだけその場から離れる。



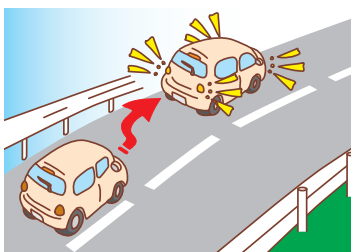
### 鉄道・バスに乗っているとき

- つり革や手すりにしっかりつかまる。



### 自動車運転中

- あわてて急ハンドルや急ブレーキをかけず緩やかに速度を落とす。
- ハザードランプを点灯して周りの車に注意を促し、道路の左側に停止する。



### 大都市で地震に遭遇した時

**まずは、身の安全を確保した後、むやみに移動を開始しないことが基本!安全な場所にとどまることを考えましょう。**

- 道路では余震で頭上から物が落下してきたり、道中に火災が起こっていたりするなど、数多くの危険が予想されますので、安全な場所からはむやみに移動しないようにしましょう。
- 駅周辺等大混雑している場所では、人が将棋倒しになる集団転倒が起きやすくなります。駅周辺には近づかないようにしましょう。
- 発生3日程度は火災の発生や救助・救急活動優先のため、混乱状態が続きます。まず身を守るために安全な場所にとどまることを考えましょう。



出典：首相官邸ホームページを加工して作成



# 津波対策について

## 津波警報・注意報の分類と、とるべき行動

種類	発表される津波の高さ		取るべき行動	想定される被害
	数値での発表 (予想される津波の高さ区分)	巨大地震の 場合の発表		
大津波警報	10m超 (10m<予想される津波の最大波の高さ)	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。
	10m (5m<予想される津波の最大波の高さ≤10m)			
	5m (3m<予想される津波の最大波の高さ≤5m)			
津波警報	3m (1m<予想される津波の最大波の高さ≤3m)	高い		標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。
津波注意報	1m (0.2m≤予想される津波の最大波の高さ≤1m)	—	海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかがが流失し小型船舶が転覆します。

※大津波警報を「特別警報」に位置づけています。

### 津波警報・注意報と避難のポイント

- 震源が陸地に近いと津波警報・注意報が津波の襲来に間に合わないことがあります。強い揺れや弱くても長い揺れを感じたときは、すぐに避難を開始しましょう。
- 津波の高さを「巨大」と予想する大津波警報が発表された場合は、東日本大震災のような巨大な津波が襲うおそれがあります。直ちにできる限りの避難をしましょう。
- 津波は沿岸の地形等の影響により、局所的に予想より高くなる場合があります。ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう。

出典：気象庁ホームページを加工して作成

## 津波の時はどのように行動したらいいか？

- 強い揺れや弱くても長い揺れを感じたら、また地震を体で感じなくても、「津波警報」等を見聞きしたら、いち早く海岸から離れ、可能な限り高い場所へ避難してください。
- 海水浴等により海岸付近にいる人は、「津波注意報」でも避難が必要です。海からあがる、海岸から離れるなど、すぐに避難を開始してください。
- 避難をする時は、津波到達予想時刻の情報を踏まえて、可能な限り海から離れて西の方向に向かうほか、近くの高い建物などに向かってください。
- 第一波の引いた後に家に戻り第二波にのみこまれ被害に遭ったケースや、余震により再度津波が発生するケースもあります。津波警報・注意報が解除され安全が確認されるまでは決して被災地域には立ち入らないでください。
- 津波の災害から身を守るためには、日頃から津波に関する情報を収集したり、津波ハザードマップなどで家の周りの安全な避難場所を確認しておくことが必要です。
- 津波は想像を超える速さ、あるいは想像を超える場所からやってくることを認識しておきましょう。

出典：首相官邸ホームページを加工して作成

**津波フラッグは  
避難の合図!!**



津波警報等を知る手段に、令和2年夏より新しく**津波フラッグ**が加わりました。海岸で**津波フラッグ**を見かけたら、速やかに避難しましょう。

## もしもの時のため、「津波標識」の確認を

津波の危険がある場所には、津波が襲う危険を示す「津波注意」標識や、避難場所、避難ビルを示す標識が設置されています。海の近くにいるときは、必ず避難経路と合わせて確認しておきましょう。



緊急時一時避難場所



津波避難ビル



津波注意

出典：気象庁ホームページを加工して作成

# 避難施設一覧

## 避難施設の種類

### 指定緊急避難場所

災害発生後の一時避難場所として、学校のグラウンド・公園・公共施設などを指定しています。

### 指定避難所

災害による家屋の倒壊などで、居住場所を確保できなかった人たちの収容保護を目的として、物資の運搬・集積・炊事・宿泊などの利便性を考慮したうえで、学校・公民館・公共建築物などを指定しています。

## 指定緊急避難場所・指定避難所一覧

NO	施設・場所名	詳細地図頁	住所	対象とする異常な現象の種類						想定収容人数 (避難場所)	想定収容人数 (避難所)	避難場所 避難所との 重複
				洪水	崖崩れ、土 石流及び地 滑り	高潮	地震	津波	大規模 な火事			
①	巨理小学校	P15・30	巨理町字下小路22-2	○	○	○	○	○	○	5,300	1,900	○
②	巨理中学校	P15・29	巨理町字沼頭1	○	○	○	○	○	○	11,900	2,300	○
③	荒浜小学校	P14・28	巨理町荒浜字隈湯67				○		○	1,800	1,000	○
④	荒浜中学校	P14・28	巨理町荒浜字東木倉70-1				○		○	3,300	1,000	○
⑤	吉田小学校	P15・34	巨理町吉田字宮前63	○	○	○	○	○	○	1,700	700	○
⑥	吉田中学校	P16・35	巨理町吉田字松元238-14				○		○	4,300	1,100	○
⑦	長瀬小学校	P16・31	巨理町長瀬字南原193-76				○		○	3,200	900	○
⑧	逢隈小学校	P13・22	巨理町逢隈田沢字鈴木堀93-1				○	○	○	3,100	1,700	○
⑨	逢隈中学校	P13・22	巨理町逢隈牛袋字南西河原2-6				○	○	○	3,600	1,100	○
⑩	高屋小学校	P14・27	巨理町逢隈高屋字保戸原54-2				○		○	2,400	600	○
⑪	巨理町中央公民館	P15・29	巨理町字旧館61-22	○	○	○	○	○	○	400	400	○
⑫	佐藤記念体育館	P15・29	巨理町字旧館62-1	○	○	○	○	○	○	600	600	○
⑬	武道館	P15・29	巨理町字旧館62-1	○	○	○	○	○	○	300	300	○
⑭	荒浜体育館	P14・28	巨理町荒浜字中野33				○		○	450	450	○
⑮	荒浜地区交流センター	P14・28	巨理町荒浜字中野33				○		○	700	200	○
⑯	B&G海洋センター体育館	P13・22	巨理町逢隈田沢字鈴木堀6-7				○		○	1,600	500	○
⑰	逢隈地区交流センター	P13・22	巨理町逢隈田沢字鈴木堀6-8				○		○	300	200	○
⑱	農村創作活動センター (宮前野球場含む)	P15・34	巨理町吉田字宮前58-1	○	○	○	○		○	2,050	50	○
⑲	吉田地区交流センター	P16・35	巨理町吉田字大塚185				○		○	1,800	1,200	○
⑳	吉田体育館	P16・35	巨理町吉田字大塚172				○		○			○
㉑	郷土資料館・図書館	P15・30	巨理町字西郷140				○		○	1,850	150	○
㉒	宮城県巨理高等学校	P15・29	巨理町字館南56-2	○	○	○	○	○	○	2,500	2,500	○

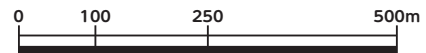
※NO⑱の農村創作活動センターは避難所で宮前野球場は避難場所となります。

# 巨理町全体図



# 詳細図 No.1 (津波ハザードマップ)

1 : 10,000



**凡例**

① 避難所	学校	神社	常磐線
緊急時一時避難場所	警察署・駐在所	寺院	河川カメラ
役場	消防署	国道	水位計
	郵便局	県道・主要地方道	水位観測所

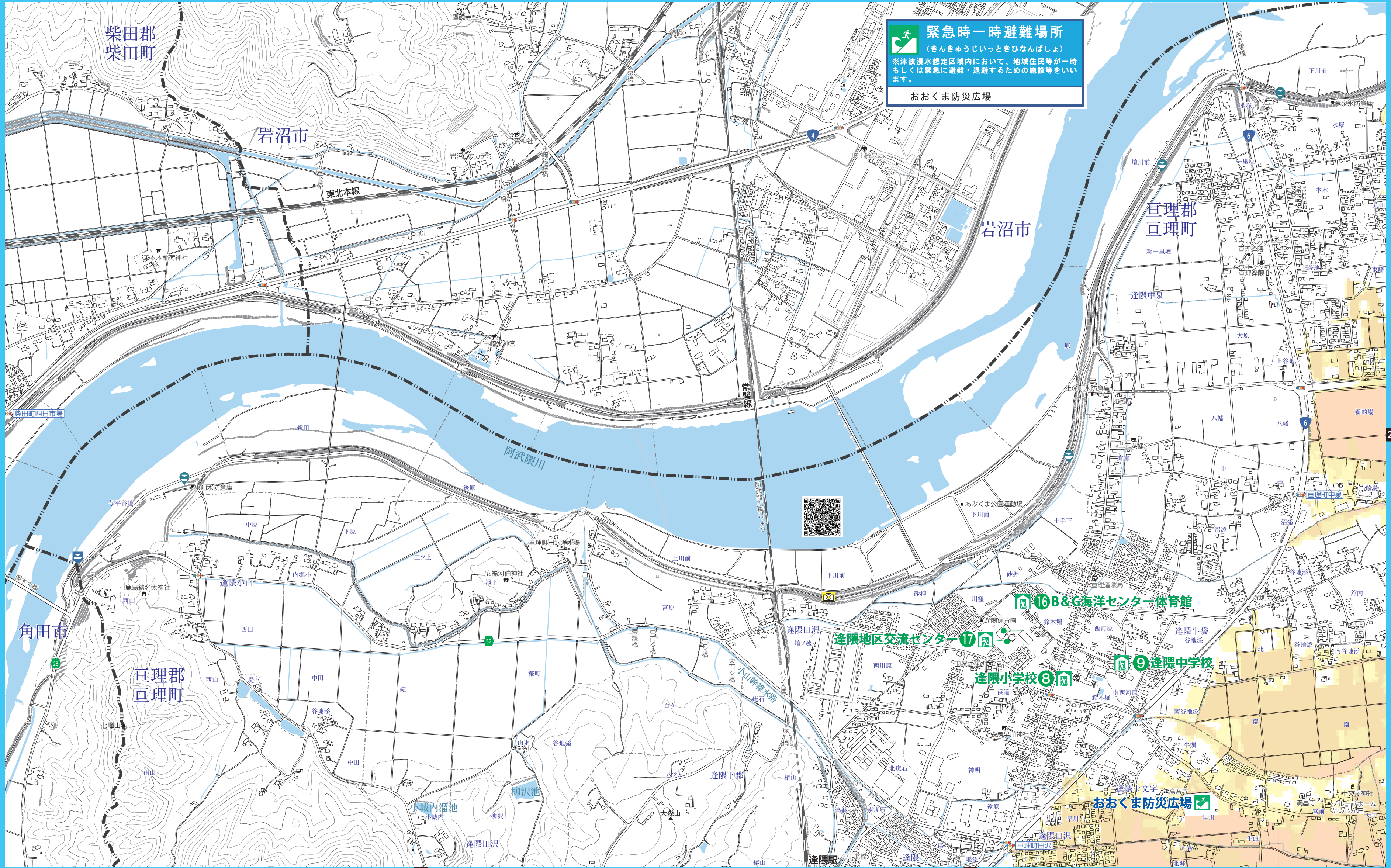
※①数字施設につきましてはP19～P20をご参照下さい。

**凡例 津波**

※本マップは基準水位に基づいて作製しております。

【津波ハザードマップ基準水位について】  
「基準水位」とは、津波浸水想定に定める浸水深(水位)に対して、建築物等への衝突による津波の水位の上昇を考慮したうえで必要と認められる値を加えて定めた水位のことです。

基準水位に基づく浸水深(m)					
0.3m 未満	0.3m 以上 0.5m 未満	0.5m 以上 1m 未満	1m 以上 3m 未満	3m 以上 5m 未満	5m 以上 10m 未満
					10m 以上 20m 未満



**緊急時一時避難場所**  
(きんきゅうじいつきひなんばしょ)

※津波浸水想定区域内において、地域住民等が一時もしくは緊急に避難・退避するための施設等をいいます。

**おおくま防災広場**

**16 B&G海洋センター体育館**

**17 逢隈地区交流センター**

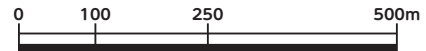
**8 逢隈小学校**

**9 逢隈中学校**

**おおくま防災広場**

# 詳細図 No.2 (津波ハザードマップ)

1 : 10,000



凡例

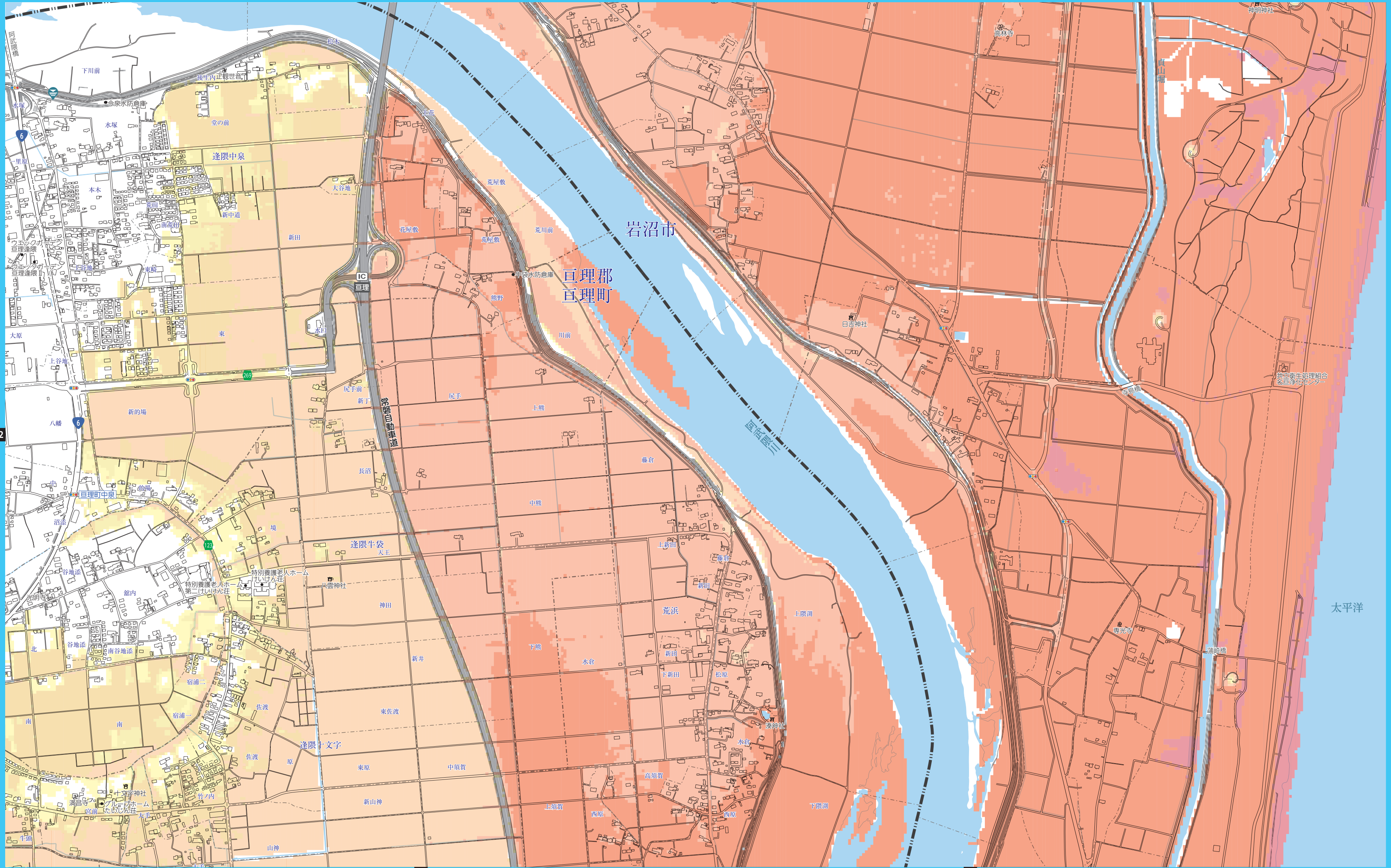
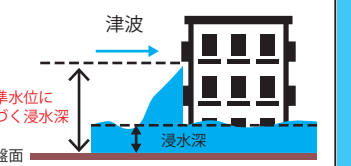
- ① 避難所
  - ② 学校
  - ③ 神社
  - 常磐線
  - ④ 緊急時一時避難場所
  - ⑤ 警察署・駐在所
  - ⑥ 寺院
  - ⑦ 河川カメラ
  - ⑧ 消防署
  - ⑨ 国道
  - ⑩ 水位計
  - ⑪ 役場
  - ⑫ 郵便局
  - ⑬ 県道・主要地方道
  - ⑭ 水位観測所
- ※①数字施設につきましてはP19～P20をご参照下さい。

※本マップは基準水位に基づいて作製しております。

凡例

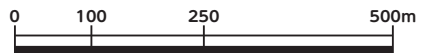
基準水位に基づく浸水深 (m)						
0.3m 未満	0.3m 以上 0.5m 未満	0.5m 以上 1m 未満	1m 以上 3m 未満	3m 以上 5m 未満	5m 以上 10m 未満	10m 以上 20m 未満

【津波ハザードマップ基準水位について】  
「基準水位」とは、津波浸水想定に定める浸水深(水位)に対して、建築物等への衝突による津波の水位の上昇を考慮したうえで必要と認められる値を加えて定めた水位のことです。



# 詳細図 No.3 (津波ハザードマップ)

1 : 10,000



**凡例**

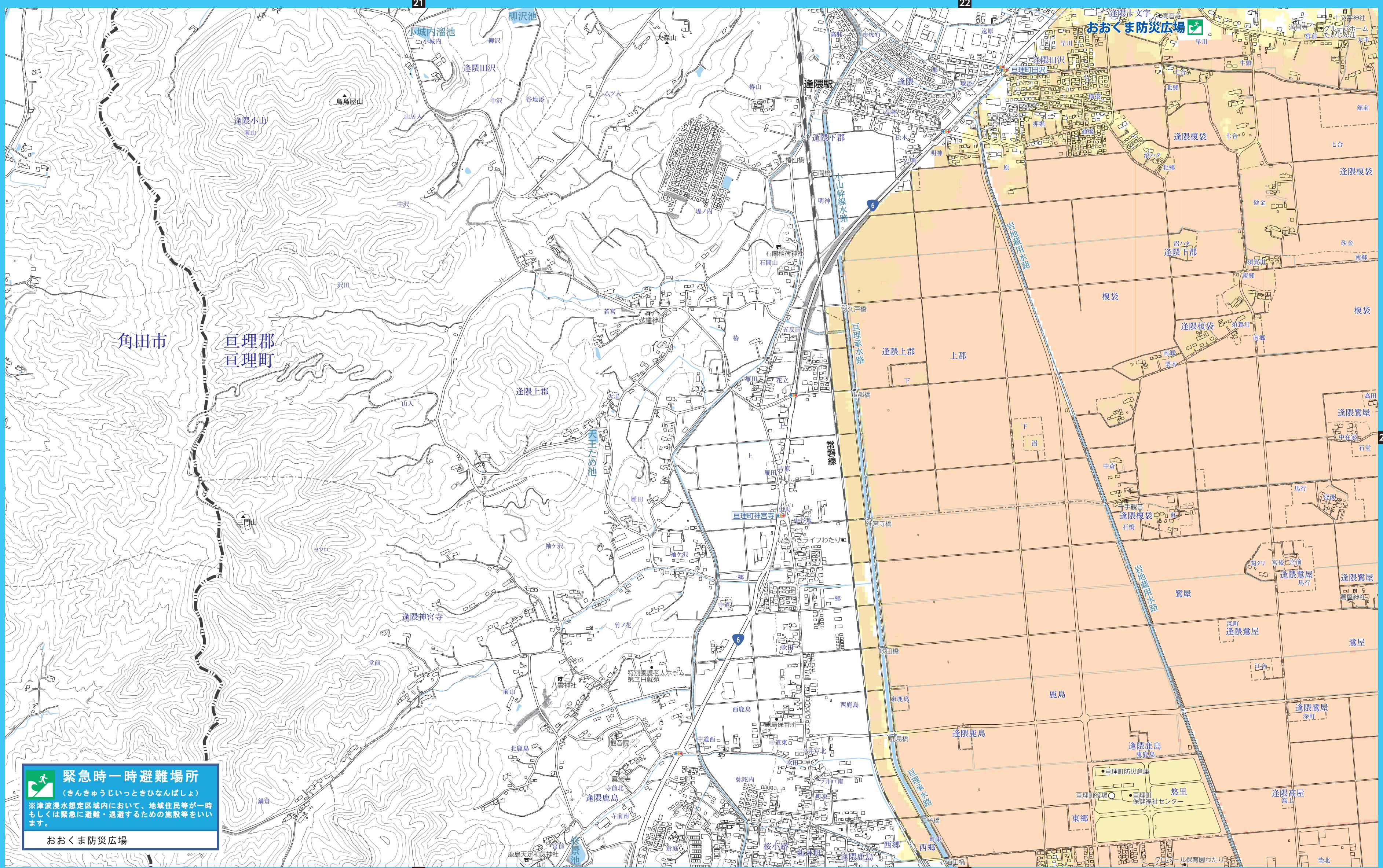
① 避難所	学校	神社	常磐線
<small>※①数字施設につきましてはP19～P20をご参照下さい。</small>	警察署・駐在所	寺院	河川カメラ
緊急時一時避難場所	消防署	6 国道	水位計
役場	郵便局	10 県道・主要地方道	水位観測所

**凡例 津波**

基準水位に基づく浸水深 (m)

0.3m 未満	0.3m 以上 0.5m 未満	0.5m 以上 1m 未満	1m 以上 3m 未満	3m 以上 5m 未満	5m 以上 10m 未満	10m 以上 20m 未満
---------	--------------------	------------------	----------------	----------------	-----------------	------------------

【津波ハザードマップ基準水位について】  
「基準水位」とは、津波浸水想定に定める浸水深(水位)に対して、建築物等への衝突による津波の水位の上昇を考慮したうえで必要と認められる値を加えて定めた水位のことです。



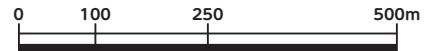
**緊急時一時避難場所**  
(きんきゅうじいつきひなんばしょ)

※津波浸水想定区域内において、地域住民等が一時もしくは緊急に避難・退避するための施設等をいいます。

**おおくま防災広場**

# 詳細図 No.4 (津波ハザードマップ)

1 : 10,000



**凡例**

① 避難所	学校	神社	常磐線
緊急時一時避難場所	警察署・駐在所	寺院	河川カメラ
役場	消防署	6 国道	水位計
	郵便局	10 県道・主要地方道	水位観測所

※①数字施設につきましてはP19～P20をご参照下さい。

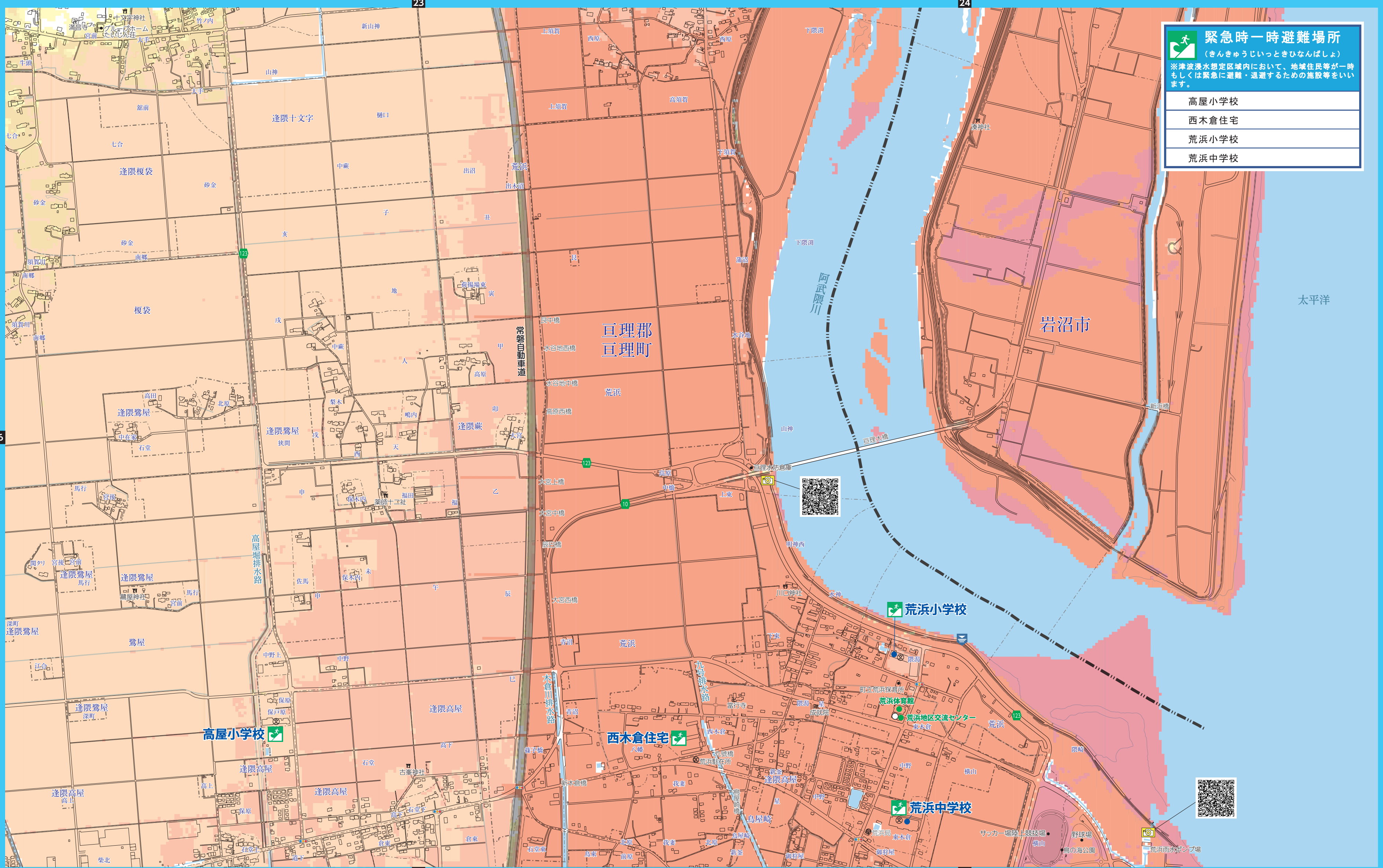
※本マップは基準水位に基づいて作製しております。

**凡例 津波**

基準水位に基づく浸水深 (m)

0.3m 未満	0.3m 以上 0.5m 未満	0.5m 以上 1m 未満	1m 以上 3m 未満	3m 以上 5m 未満	5m 以上 10m 未満	10m 以上 20m 未満
---------	--------------------	------------------	----------------	----------------	-----------------	------------------

【津波ハザードマップ基準水位について】  
「基準水位」とは、津波浸水想定に定める浸水深(水位)に対して、建築物等への衝突による津波の水位の上昇を考慮したうえで必要と認められる値を加えて定めた水位のことです。



**緊急時一時避難場所**  
(きんきゅうじいつときひなんばしょ)

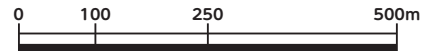
※津波浸水想定区域内において、地域住民等が一時もしくは緊急に避難・退避するための施設等をいいます。

高屋小学校
西木倉住宅
荒浜小学校
荒浜中学校



# 詳細図 No.5 (津波ハザードマップ)

1 : 10,000



- 凡例**
- ① 避難所
  - ② 緊急時一時避難場所
  - 役場
  - ⊗ 学校
  - ⊗ 警察署・駐在所
  - ⊗ 消防署
  - ⊗ 郵便局
  - ⌘ 神社
  - ⌘ 寺院
  - ⑥ 国道
  - ⑩ 県道・主要地方道
  - 常磐線
  - 📷 河川カメラ
  - 📍 水位計
  - 📍 水位観測所

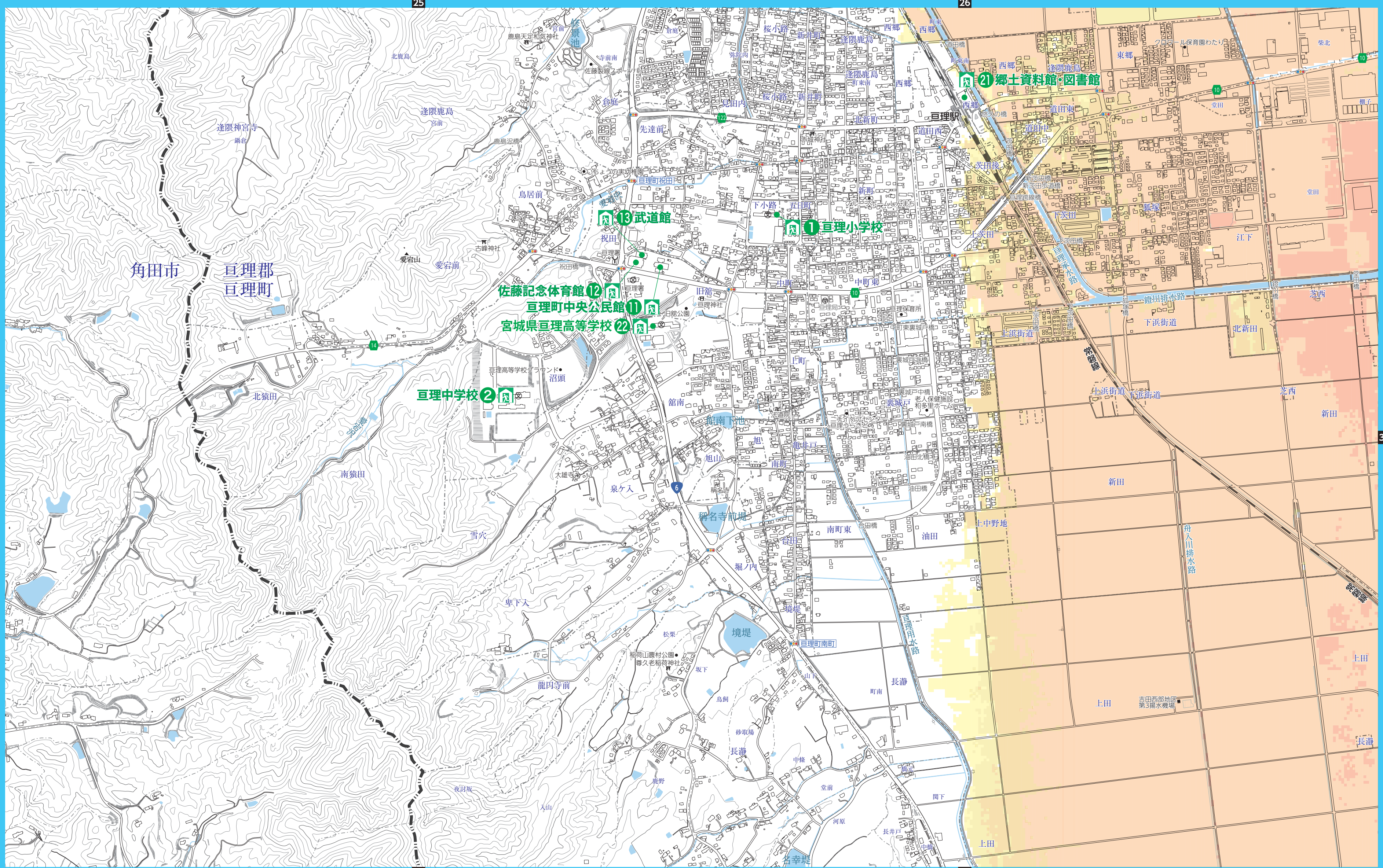
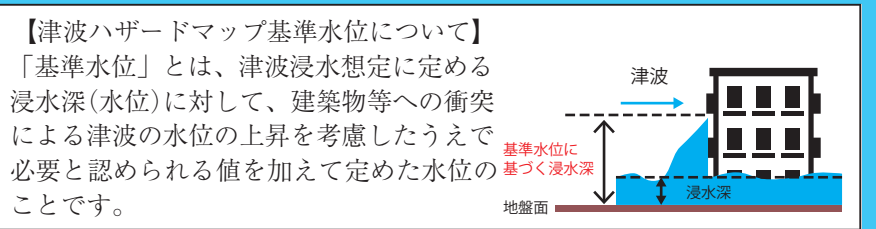
※①数字施設につきましてはP19～P20をご参照下さい。

※本マップは基準水位に基づいて作製しております。

**凡例 津波**

基準水位に基づく浸水深 (m)

0.3m 未満	0.3m 以上 0.5m 未満	0.5m 以上 1m 未満	1m 以上 3m 未満	3m 以上 5m 未満	5m 以上 10m 未満	10m 以上 20m 未満
---------	--------------------	------------------	----------------	----------------	-----------------	------------------

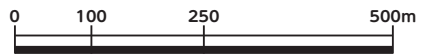




※本マップは基準水位に基づいて作製しております。

# 詳細図 No.6 (津波ハザードマップ)

1 : 10,000



**凡例**

① 避難所	学校	神社	常磐線
緊急時一時避難場所	警察署・駐在所	寺院	河川カメラ
役場	消防署	6 国道	水位計
	郵便局	10 県道・主要地方道	水位観測所

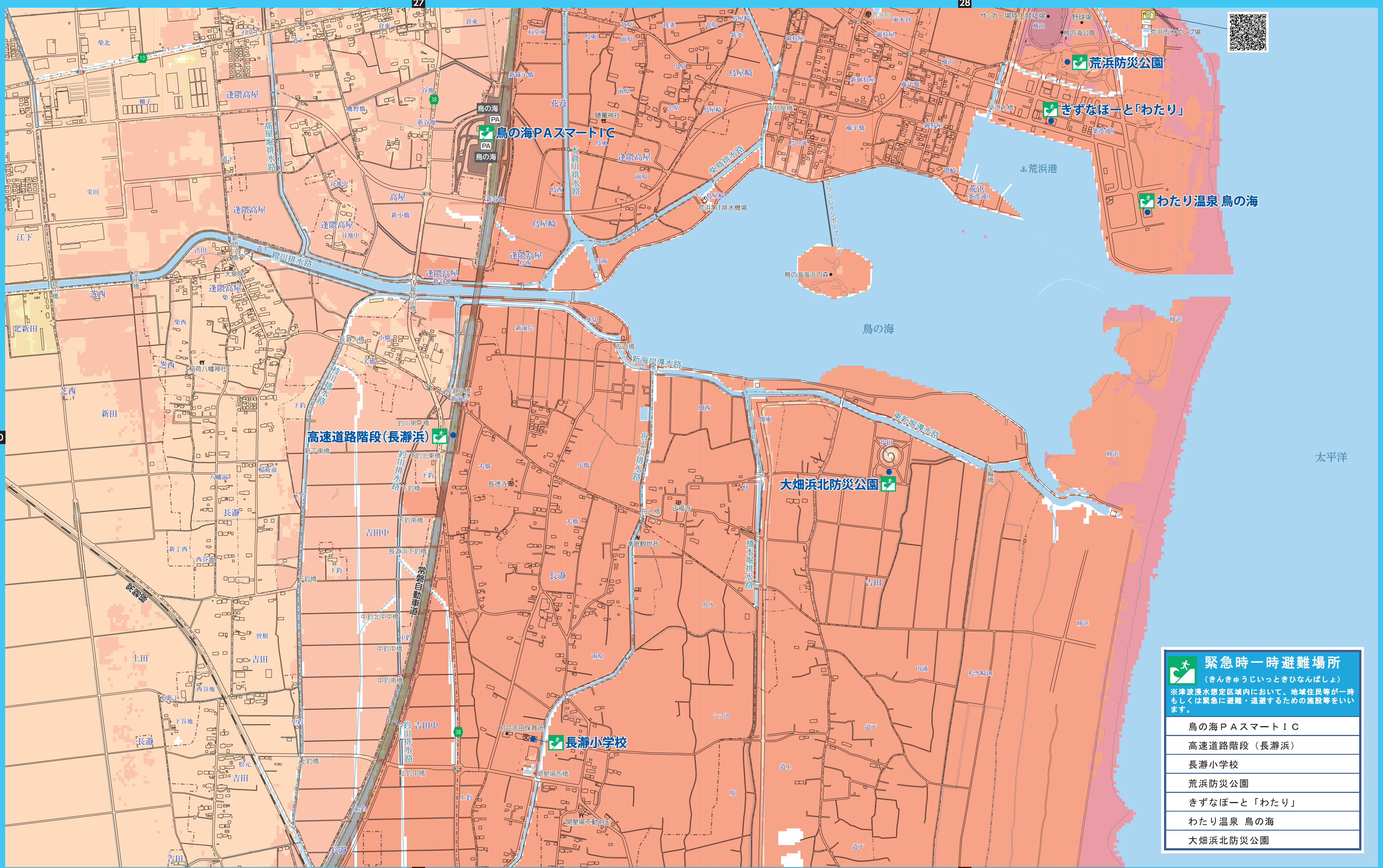
※①数字施設につきましてはP19～P20をご参照下さい。

**凡例 津波**

基準水位に基づく浸水深 (m)

0.3m 未満	0.3m 以上 0.5m 未満	0.5m 以上 1m 未満	1m 以上 3m 未満	3m 以上 5m 未満	5m 以上 10m 未満	10m 以上 20m 未満
---------	--------------------	------------------	----------------	----------------	-----------------	------------------

【津波ハザードマップ基準水位について】  
「基準水位」とは、津波浸水想定に定める浸水深(水位)に対して、建築物等への衝突による津波の水位の上昇を考慮したうえで必要と認められる値を加えて定めた水位のことです。



**緊急時一時避難場所**  
(きんきゅうじいつきひなんばしょ)

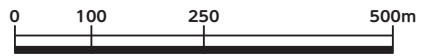
※津波浸水想定区域内において、地域住民等が一時もしくは緊急に避難・退避するための施設等をいいます。

鳥の海PAスマートIC
高速道路階段(長瀨浜)
長瀨小学校
荒浜防災公園
きずなぼーと「わたり」
わたり温泉 鳥の海
大畑浜北防災公園

※本マップは基準水位に基づいて作製しております。

詳細図 No.7  
(津波ハザードマップ)

1 : 10,000

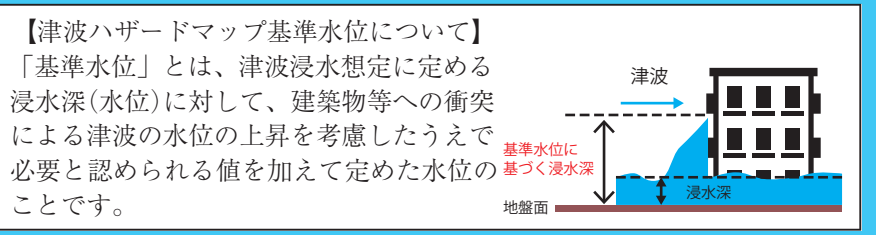


- 凡例
- ① 避難所
  - ② 緊急時一時避難場所
  - 役場
  - ⊗ 学校
  - ⊗ 警察署・駐在所
  - ⊗ 消防署
  - ⊗ 郵便局
  - ⌌ 神社
  - ⌌ 寺院
  - ⑥ 国道
  - ⑩ 県道・主要地方道
  - 常磐線
  - 📷 河川カメラ
  - 📊 水位計
  - 📊 水位観測所

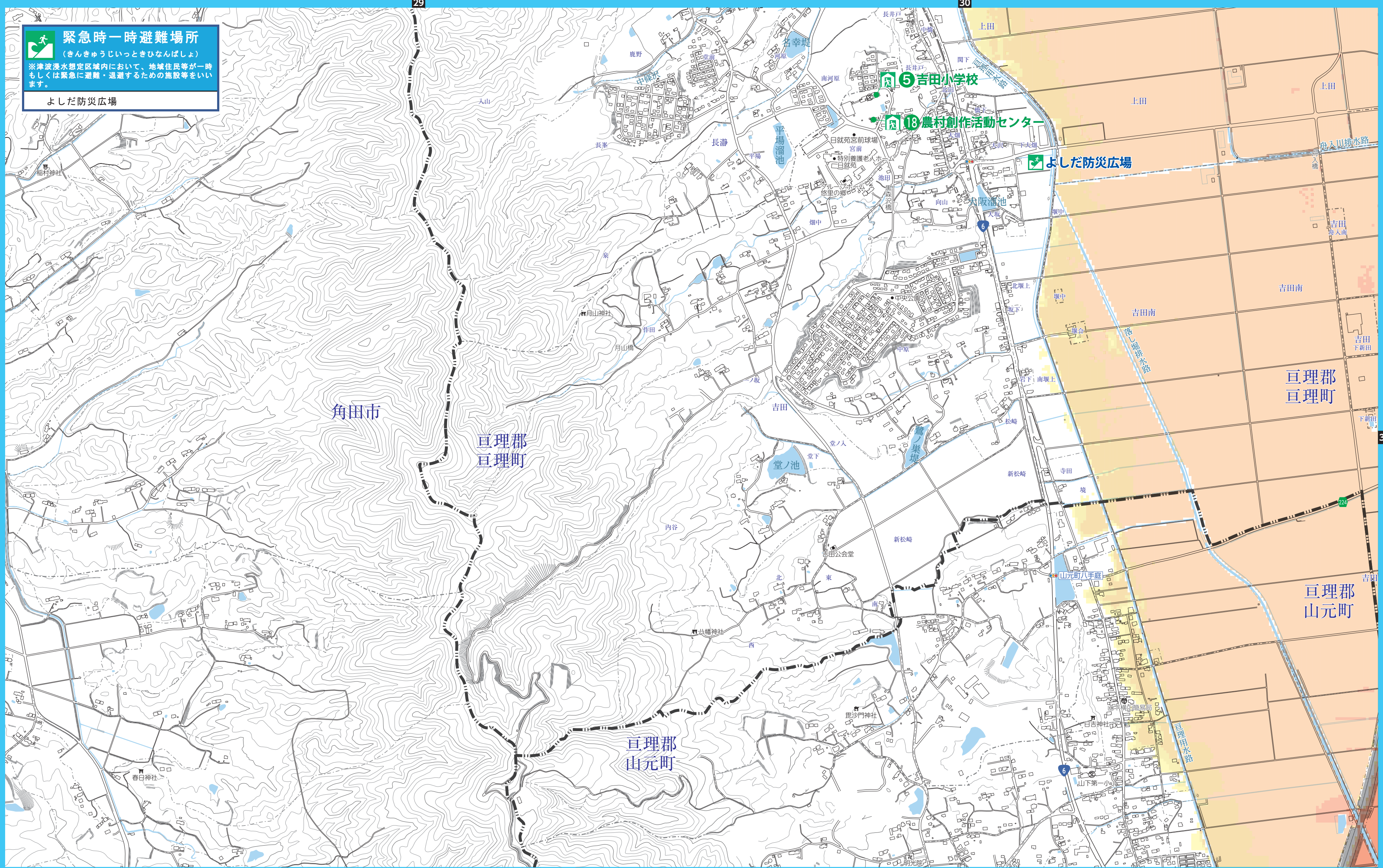
凡例 津波

基準水位に基づく浸水深 (m)

0.3m 未満	0.3m 以上 0.5m 未満	0.5m 以上 1m 未満	1m 以上 3m 未満	3m 以上 5m 未満	5m 以上 10m 未満	10m 以上 20m 未満
---------	--------------------	------------------	----------------	----------------	-----------------	------------------

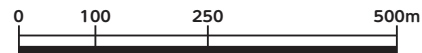


**緊急時一時避難場所**  
(きんきゅうじいつときひなんばしょ)  
※津波浸水想定区域内において、地域住民等が一時もしくは緊急に避難・退避するための施設等をいいます。  
よしだ防災広場



# 詳細図 No.8 (津波ハザードマップ)

1 : 10,000



**凡例**

避難所	学校	神社	常磐線
緊急時一時避難場所	警察署・駐在所	寺院	河川カメラ
役場	消防署	国道	水位計
	郵便局	県道・主要地方道	水位観測所

※①数字施設につきましてはP19～P20をご参照下さい。

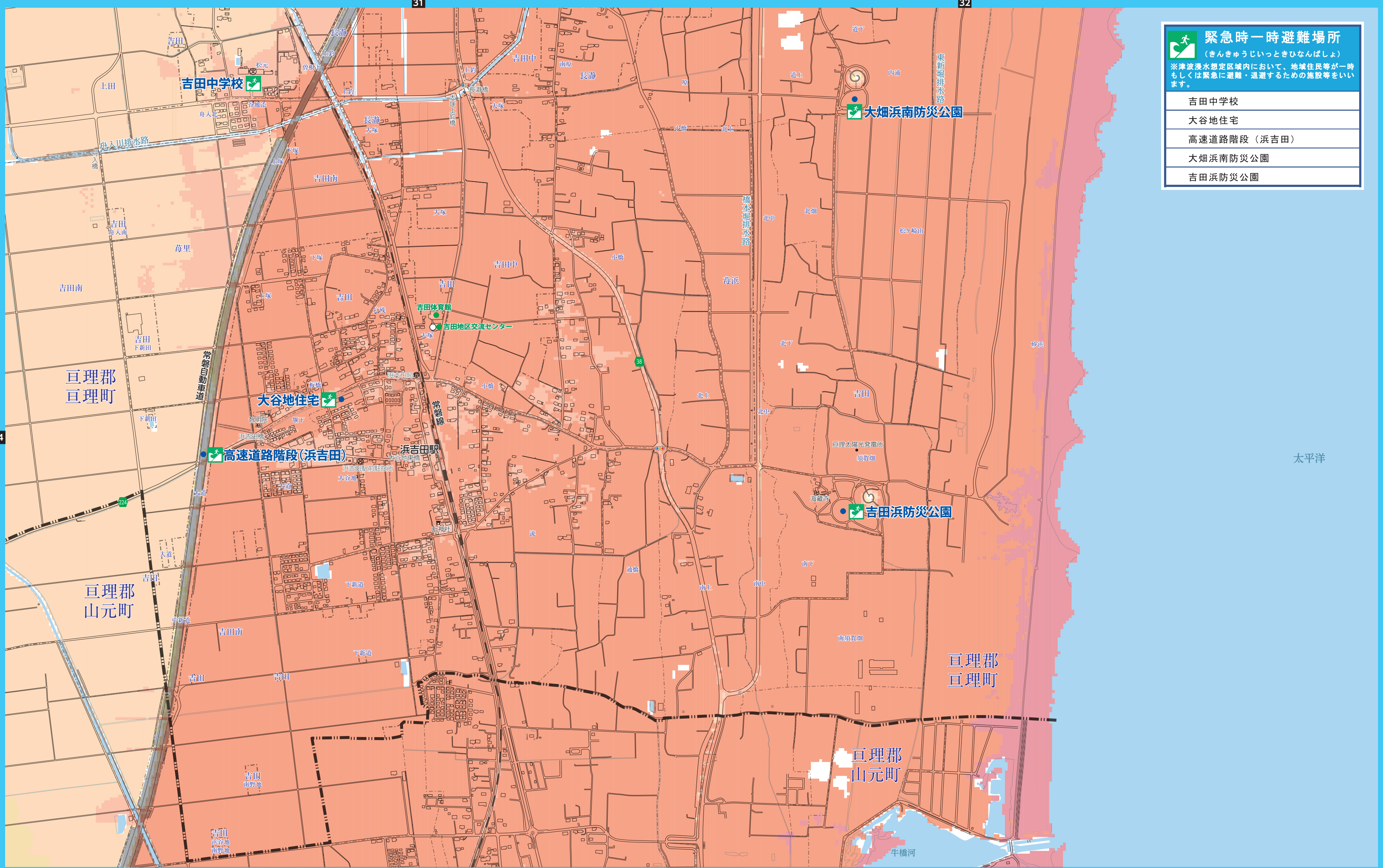
※本マップは基準水位に基づいて作製しております。

**凡例 津波**

基準水位に基づく浸水深 (m)

0.3m 未満	0.3m 以上 0.5m 未満	0.5m 以上 1m 未満	1m 以上 3m 未満	3m 以上 5m 未満	5m 以上 10m 未満	10m 以上 20m 未満
---------	--------------------	------------------	----------------	----------------	-----------------	------------------

【津波ハザードマップ基準水位について】  
「基準水位」とは、津波浸水想定に定める浸水深(水位)に対して、建築物等への衝突による津波の水位の上昇を考慮したうえで必要と認められる値を加えて定めた水位のことです。



**緊急時一時避難場所**  
(きんきゅうじいつときひなんばしょ)

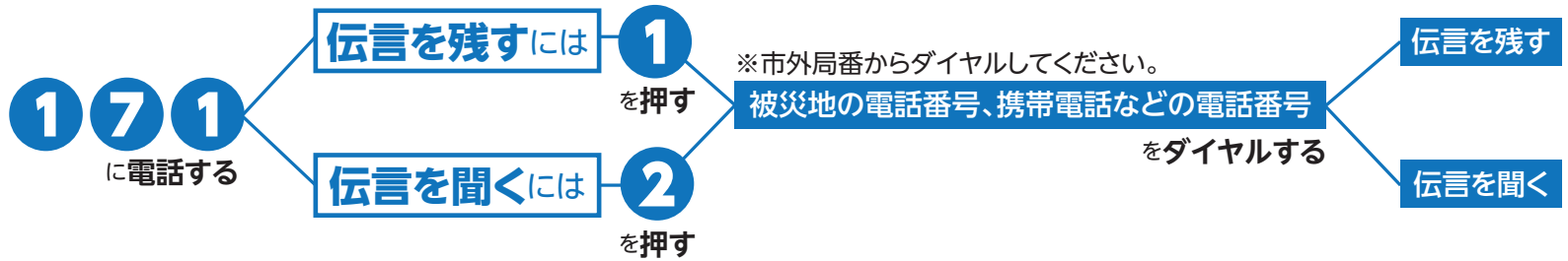
※津波浸水想定区域内において、地域住民等が一時もしくは緊急に避難・退避するための施設等をいいます。

吉田中学校
大谷地住宅
高速道路階段 (浜吉田)
大畑浜南防災公園
吉田浜防災公園

# 171・Web伝言板・ライフライン&緊急&行政

## 災害用伝言ダイヤル「171」

災害時には電話がつながりにくくなります。  
「171」に電話をかけると、伝言の録音や再生ができます。



<災害用伝言ダイヤル(171)の使い方> 加入電話、公衆電話、携帯電話、スマートフォンから利用が可能です。  
「171」をダイヤルし、利用ガイダンスに従って、伝言の録音・再生を行ってください。

## 災害用伝言板「Web171」

災害の発生により被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった際に、電話やインターネットを利用して被災地の方の安否確認を行う伝言板です。



- 「web171」へアクセス  
<https://www.web171.jp>
- 利用規約に「同意」
- 伝言を登録する「電話番号」を入力  
携帯電話等の番号でもご利用いただけます。
- 登録者・メッセージの入力
- 伝言の登録

～ そのほかの機能 ～  
 ・災害時にお預かりした安否情報をメールや音声で知らせたい相手へお届けすることができます。  
 (※利用者登録が必要です)

※災害時、体験利用時ともにインターネット接続費用や通信料等がかかります。



- 「web171」へアクセス  
<https://www.web171.jp>
- 利用規約に「同意」
- 伝言を確認したい「電話番号」を入力
- 伝言の確認
- 返信の伝言の登録

～ そのほかの機能 ～  
 ・各携帯電話会社の災害用伝言板に登録された伝言を検索することができます。  
 ・伝言が登録されたことをメールアドレスに通知することができます。

※災害時、体験利用時ともにインターネット接続費用や通信料等がかかります。

## ライフライン

亘理町上下水道課	(電話)0223-34-0515
東北電力ネットワーク(停電時)	(電話)0120-175-366
NTT東日本(故障時)	(電話)0120-444-113

## 緊急

消防へ火事・救急  
救助の連絡



警察へ事件  
事故の連絡



海上の事件  
事故の連絡



## 行政

亘理町役場(代表)	(電話)0223-34-1111
亘理警察署	(電話)0223-34-2111
亘理消防署	(電話)0223-34-1155



# 我が家の「緊急・医療情報」防災メモ

非常時・緊急時に連絡してほしい方や、利用してもらいたい、わが家の情報です。  
災害時に救助の方や、緊急時に救急隊・医療機関などに情報を提供します。

## 家族の集合場所

氏名	避難所・避難場所	連絡方法

## 家族の連絡先及び医療情報

氏名	続柄	電話番号(自宅・携帯)	電話番号(会社・学校)	生年月日	血液型	医療情報(持病・アレルギー・常備薬)
					型	
					型	
					型	
					型	
					型	
					型	
					型	
					型	

## 親族・知人

氏名	間柄	住所	電話番号

## かかりつけ医療機関

医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号

亶理町とLINEヤフー株式会社(旧：ヤフー株式会社)は、平成28年9月30日に「災害に係る情報発信等に関する協定」を締結しています。

# ヤフー 防災模試

※「防災模試」はLINEヤフー株式会社の商標または登録商標です。



「ヤフー防災模試」はスマートフォンで手軽に気軽に防災力を高めることができるコンテンツです。「速習編」「地震編」「台風・豪雨編」の3つの模試で構成されており、自分の身を守る知識をクイズ方式で学べます。

数々の災害は、過去の課題が改善されずに再び起きてしまったものでもありました。自分や大切な人の命を守れるか、いつでも、確認してみてください。

## ヤフー防災模試

あなたの防災偏差値は？  
スマートフォンから受験してみましょう。

速習編

おすすめ!

地震編

台風・豪雨編



## Yahoo!防災速報

災害から命を守る防災アプリ。  
さまざまな防災情報のプッシュ通知をはじめ、普段の備えから災害警戒時に役立つ情報をお届けし、あなたの防災行動を支援します。



### 防災情報通知

さまざまな防災情報を迅速にプッシュ通知  
早め早めの行動判断をサポートします



### 災害マップ

ユーザー同士で状況を共有でき  
どんな災害がどこまで迫っているかがわかります



### 防災手帳

防災で一番大切な普段の備えから  
災害で困ったときに役に立つ情報を幅広く掲載

ダウンロードはこちらから



## LINEみんなで考える防災 LINE公式アカウント

LINEヤフーから防災に関する情報が届きます。



## 亶理町 LINE公式アカウント

防災、安全にまつわる情報を入手できます。  
行政の手続きができるほか、町の情報なども受け取れます。

